

情報処理教育についての一考察

—財務会計のBASICプログラムを例として—

田 中 栄 一

大学において、情報処理、コンピュータ処理等の名で計算機の講義が行なわれるようになって20年程になるだろうか。大学の講義でコンピュータ教育を行うとき、20年、10年前と同様なプログラミング中心の講義でよいだろうか。

学生に、処理しようとする具体的な問題がないのに、計算機言語だけをおぼえさせようとして、ステートメントを覚えるための例題ばかり解いては、1年経っても(BASICの)FOR/NEXT文の使い方さえ十分に理解できないことが多いように思う。

計算機言語を習得するより前に、まず計算機そのものに慣れる事が大切である。教育者が適切なプログラムを作成し、学生がそのプログラムを何度も使うことにより、計算機に慣れ親しむことができる。BASICなりFORTRANを教えるのは、それからでも遅くない。ある程度、言語を習ったならば、先の教育者の組んだプログラムを例題として考え、学生を指導する。同一のデータ処理でも、人によってプログラムは千差万別である。教育者の作成したプログラムを使っているうちに、学生はきっと問題点を発見し、プログラムを改良、あるいは全く新しい考えのプログラムを作るかもしれない。

1. はじめに

この論文では、以上のような情報処理教育の観点に立ち、学生が計算機言語を習得する前に用いるプログラムの例として財務会計のBASICプロ

グラムを紹介する。これは漢字 CP/M—86 の元でシャープ BASIC—2 で作成した。勘定科目、摘要は漢字入力ができ、又、摘要はコード番号で登録することができる。

計算機でのデータ処理、特にキー入力において、一番やっかいなものは漢字である。しかし、日本語 CP/M—86 や日本語 MS—DOS など、カナ漢字変換・ローマ字漢字変換が行える OS が登場して、随分と漢字操作が容易になった。

2. 使用機器

パソコン本体	シャープMZ—5526 (256 KB・RAM) 5 インチ・フロッピーデスク 2 基内蔵 (320 KB / 基)
ディスプレイ	シャープMZ—1 D 11 640 × 400 ドット カラーグラフィック
プリンタ	シャープMZ—1 P 03 (132 桁漢字プリンタ)
OS	漢字 CP/M—86

さらに辞書 ROM があれば、摘要への漢字入力は、ワープロなみに、文節変換ができる。

3. 勘定科目と摘要コード番号について

勘定科目のコード番号は、次のように割り振った。

- 資産勘定 : 1 ~ 20 番
- 負債勘定 : 21 ~ 30 番
- 費用勘定 : 31 ~ 60 番
- 収益勘定 : 61 ~ 69 番

とした。

180, 190 行の変数 MO は元入金, JK は事業主借のコード番号である。年度末処理で, 元入金の来年度への繰り越し高を計算する時に, 事業主借のコード番号が必要となるからである。勘定科目のコード番号を多く変更した場合など, 180, 190 行で MO, JK にはそれぞれ元入金, 事業主借のコード番号を入れること。

(プログラム3) 摘要データ

```

11230 REM ***** 摘要データ入力 *****
11240 REM ***** 摘要コード入力 *****
11250 RESTORE 11230
11260 READ C
11270 IF C=0 THEN GOTO 11280
11280 PRINT(11200+INT(C/10)*100+MOD(C,10))
11290 READ TEMP(TEMP(C))
11290 GOTO 11230
11280 DATA 0101, 本校, 0102, A 教室, 0103, S 教室, 0104, M 教室
11290 DATA 0201, 1 年定期, 0202, 6 ヶ月定期, 0203, 諸経費支払準備, 0204, 決算利息
11300 DATA 0205, 配当金, 0206, 授業料口座振込分, 0207, 積立預金, 0208, 郵便預金
11310 DATA 1401, 健康保険料, 1402, 市町村税, 1403, 中小企業共済掛金
11320 DATA 2301, 翌月分授業料受取, 2302, 前月受取授業料振替
11330 DATA 2401, 納期特別源泉所得税 納付
11340 DATA 3101, Y 出版 K K, 3102, S 出版 K K, 3103, K 社, 3104, A ッコ K K
11350 DATA 3105, T プリント教材社, 3106, I 騰写堂
11360 DATA 3201, 固定資産税, 3202, 自動車税, 3203, 連盟会費
11370 DATA 3204, 専修学校各種学校振興会々費, 3205, 商工会議所会費, 3206, 青色申告会費
11380 DATA 3301, 電気料, 3302, 水道料, 3303, ガス代
11390 DATA 3401, 名古屋へ, 3402, 東京へ, 3403, 岡崎へ, 3404, タクシー代
11400 DATA 3501, 電話料, 3502, 速達料, 3503, ダイレクトメール切手代, 3504, 切手代, 3505, 封筒代
11410 DATA 3601, 広告用チラシ代, 3602, 新聞折込料, 3603, 新聞折込料申付
11420 DATA 3604, 新聞折込料朝日, 3605, 新聞折込料毎日, 3606, 共同広告, 3607, 電報広告
11430 DATA 4001, ガソリン代
11440 DATA 4001, 中日ニュース他
11450 DATA 4001, 助手手当 4 名分
11460 DATA 4501, M 会館使用料 6 ヶ月分, 4502, S 会館使用料 6 ヶ月分
11470 DATA 4701, 指導者講習会, 4702, 研究発表会
11480 DATA 4901, コピーカウンター料金他, 4902, コピー機リース料
11490 DATA 5301, 満点賞賞品代
11500 DATA 9999

```

プログラム 1 の 300 行で, プログラム 3 へ移り, 摘要を 4 桁 (0000 ~ 7099) のコード番号で登録する。データ文で, 「コード番号, 摘要」の順に入っている。コード番号 0000 で入力が終わる。

4. プログラムの構成

このプログラムは、メイン・メニューといくつかのサブ・メニューからなっている。毎日の伝票入力など, 定常的に用いるメニューへ到達するまでに, 何度もキーを押さなければならないといった, メニュー方式の弱点を出来るだけおさえる様に, メニューを組んだ。また, メニュー画面に, 選択する項目があまり多すぎない様にも配慮した。

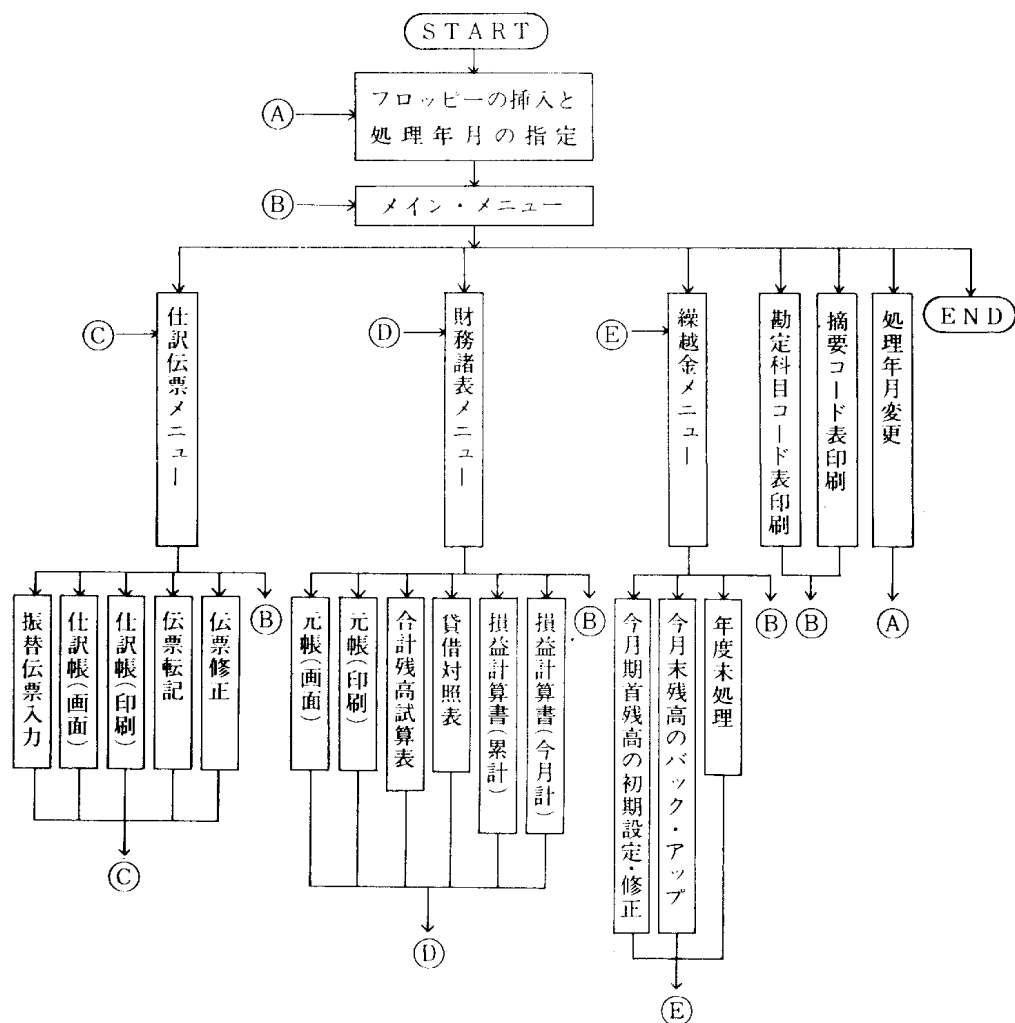
(プログラム4) メイン・メニューとサブ・メニュー

```

320 REM ----- メイン・メニュー -----
330 TITLE%=MIN%:A1%="仕 訳 伝 票 作 業":A2%="財 務 諸 表 作 成"
340 A3%="年 月 日 変 更":A4%="繰 越 金 処 理":A5%=""
350 A6%="勘定科目コード表印刷":A7%="摘要コード表印刷":A8%="お わ り"
360 GOSUB 7110: IF X=10 THEN 390
370 ON X GOSUB 420,590,310,670,370,12680,12870
380 GOTO 320
390 CONSOLE GR,OH:CURSOR 25,12
400 BOX[2]104,152,400,256,F1:>PRINT "お わ り"
410 CURSOR 0,22:END
420 REM ----- サブ・メニュー 1 (仕訳メニュー) -----
430 TITLE%="仕 訳 伝 票 メ ニ ュ ー":A1%="振 替 伝 票 入 力"
440 A2%="仕 訳 帳 作 成: 画 面":A3%="仕 訳 帳 作 成: 印 刷"
450 A4%="仕 訳 転 記":A5%="":A6%="":A7%="伝 票 修 正":A8%=NM%
460 GOSUB 7110: IF X=10 THEN 320
470 ON X GOSUB 5180,490,490,6000,460,460,6350
480 GOTO 460
490 REM ----- (仕訳帳) -----
500 XOPEN #6,MNFL%: INPUT #6(NPARAMB+1),N,T:CLOSE #6
510 IF N=0 THEN 570ELSE MUSIC "+CORD+CO"
520 PRINT CHR$(6):CURSOR 10,13:>PRINT[3]"今月の仕訳入力はありません。"
530 CURSOR 15,12:>PRINT[3]"[X] キーを押してください。"
540 GET #6: IF >#="" THEN 540
550 IF ASC(X)=13 THEN PRINT CHR$(6):RETURN
560 MUSIC"+CO":GOTO 540
570 ON X=1 GOSUB 10760,4730
580 RETURN
590 REM ----- サブ・メニュー 2 (財務諸表メニュー) -----
600 TITLE%="財 務 諸 表 メ ニ ュ ー":A1%="総 勘 定 元 帳: 画 面"
610 A2%="総 勘 定 元 帳: 印 刷":A3%="合 計 残 高 試 算 表 & 残 高 次 月 繰 越: 印 刷"
620 A4%="貸 借 対 照 表: 印 刷":A5%="損 益 計 算 書 (累 計): 印 刷"
630 A6%="損 益 計 算 書 (月 計): 印 刷":A7%="":A8%=NM%
640 GOSUB 7110: IF X=10 THEN 320
650 ON X GOSUB 9060,1250,3180,7820,8410,8450
660 GOTO 600
670 REM ----- サブ・メニュー 3 (繰越金) -----
680 TITLE%="繰 越 金 処 理 メ ニ ュ ー":A3%="今 月 末 残 高 の バ ッ ク ・ ア ッ プ"
690 A7%="年 度 末 処 理":A1%="今 月 期 首 残 高 の 初 期 設 定 ・ 修 正":A8%=NM%
700 A2%="":A4%="":A5%="":A6%=""
710 GOSUB 7110: IF X=10 THEN 320
720 ON X GOSUB 2210,720,11510,720,720,720,11780
730 GOTO 680

```

プログラム4はメイン・メニューと3つのサブ・メニューを画面に出すプログラムである。図—1は、この財務会計プログラムの流れ図である。プログラム4の前に、プログラム5, 6が実行される。



図—1 プログラムの流れ図

プログラムをロード，実行させると、『仕訳フロッピーをドライブAへ，元帳フロッピーをドライブBへ』というメッセージが出る（プログラム5）。フロッピー挿入後，リターン・キーを押し，処理年月を指定すると（図—2）ファイルが設定され，ファイルからデータが読まれ（プログラム6），図—3のメイン・メニューが画面に表われる。

◆ 財 務 会 計 シ ス テ ム ◆	
昭和□□年□□月 の財務会計をしますか？	
昭和__ 年	月

図—2 年月指定画面

(プログラム5) プログラムのスタート画面

```

2780 REM -----
2790 REM          データ・フロッピーを挿入
2800 REM -----
2810 CONSOLE LO#20
2820 PRINT CHR$(6)
2830 CURSOR 10,10:XPRINT"仕訳フロッピーを ドライブA へ"
2840 CURSOR 10,12:XPRINT"元帳フロッピーを ドライブB へ"
2850 CURSOR 15,14 : XPRINT[5]"それから, [X] key をおして下さい。"
2860 GET X$ : IF X$="" THEN 2860
2870 IF ASC(X$)=13 THEN GOTO 2890
2880 MUSIC"--CO" : GOTO 2860
2890 REM -----
2900 REM          昭和      年      月
2910 REM -----
2920 CONSOLE LO#20
2930 PRINT[7] CHR$(6):BOX 0,8,639,391:LINE 0,75,639,75
2940 CURSOR 1,2:XPRINT[7] TAB(18);"◆ ";:XPRINT[2]TITLE$;:XPRINT[7]" ◆";
2950 CURSOR 10,5:XPRINT"昭和□□年□□月   の財務会計をしますか?"
2960 CURSOR 20,7:XPRINT"  昭 和      年      月      "
2970 X=24 : Y=7 :ST=1: GOSUB 3110: D1$=X$
2980 X=26 :ST=2: GOSUB 3110: KY$=KCHR$(JTRANS(ASC(D1$)),JTRANS(ASC(X$)))
2990 YR$=D1$+X$ : IF YR$="" THEN 3080
3000 X=30 :ST=1: GOSUB 3110: D2$=X$
3010 X=32 :ST=2: GOSUB 3110: K0$=KCHR$(JTRANS(ASC(D2$)),JTRANS(ASC(X$)))
3020 MA$=D2$+X$ : IF MA$="" THEN 3080
3030 CURSOR 15,9: XPRINT"これで良いですか ?      良 --- [X] キー "
3040 CURSOR 15,11:XPRINT"                        否 --- [CL] キー "
3050 GET X$ : IF X$="" THEN 3050
3060 IF (ASC(X$)=13)+(X$=" ") THEN CONSOLE LO#25 : RETURN
3070 IF ASC(X$)>6 THEN MUSIC"--CO" : GOTO 3050
3080 CURSOR 2,7 : PRINT SPACE$(75)
3090 CURSOR 2,9 : PRINT SPACE$(75)
3100 CURSOR 2,11 : PRINT SPACE$(75) : GOTO 2960
3110 Y1=Y+1:X1=X+2: LINE [5] X*8,Y1*20,X1*8,Y1*20
3120 GET X$ : IF X$="" THEN 3120
3130 IF (ASC(X$)=13)+((ST=1)*(X$="0")) THEN MUSIC"--CO":X$="" :KX$="" :GOTO 3160
3140 IF(ASC(X$)<48)+(ASC(X$)>57) THEN 3120
3150 MUSIC"++CO" : KX$=KCHR$(JTRANS(ASC(X$)))
3160 CURSOR X,Y : XPRINT KX$ : MUSIC"R3"
3170 LINE [0] X*8,Y1*20,X1*8,Y1*20 : RETURN

```

(プログラム6) 仕訳帳・元帳ファイル等の設定

```

1100 REM -----
1110 REM          ファイルの設定
1120 REM -----
1130 SYMBOL [5] 160,256,"しばらくお待ちください。",2,2
1140 MT$=MA$ : IF VAL(MA$)<10 THEN MT$="0"+RIGHT$(MA$,1)
1150 Y9$=YR$ : IF VAL(YR$)<10 THEN Y9$="0"+RIGHT$(YR$,1)
1160 ZENFL$="A:ZEN-"+Y9$+MT$+".BRD"
1170 SWKFL$="A:SWK-"+Y9$+MT$+".BRD"
1180 IF VAL(MA$)=12 THEN NM$="01" : NY$=STR$(VAL(YR$)+1) : GOTO 1200
1190 NY$=YR$:NM$=STR$(VAL(MA$)+1):IF LEN(NM$)=1 THEN NM$="0"+NM$
1200 IF LEN(NY$)=1 THEN NY$="0"+NY$
1210 JZENFL$="A:ZEN-"+NY$+NM$+".BRD"
1220 MNFL$="A:MA#-"+Y9$+MT$+".BRD" : XOPEN #6,MNFL$
1230 INPUT #6(NKAMOKU+1),N,T,KU : IF T=0 THEN CLOSE #6 : RETURN
1240 FOR G=1 TO NKAMOKU : INPUT #6(G),DN(G) : NEXT G:CLOSE #6 : RETURN

```

◆ メイン・メニュー ◆	
昭和60年 1月	F1 …… 仕訳伝票作業
	F2 …… 財務諸表作成
	F3 …… 年月日変更
	F4 …… 繰越金処理
	F5 …… #####
	F6 …… 勘定科目コード表印刷
	F7 …… 摘要コード表印刷
	F10 …… おわり
	番号を選択して下さい

図—3 メイン・メニュー

◆ 仕訳伝票メニュー ◆	
昭和60年 1月	F1 …… 振替伝票入力
	F2 …… 仕訳帳作成:画面
	F3 …… 仕訳帳作成:印刷
	F4 …… 仕訳転記
	F5 …… #####
	F6 …… #####
	F7 …… 伝票修正
	F10 …… メイン・メニュー
	番号を選択して下さい

図—4 仕訳伝票メニュー

◆ 財務諸表メニュー ◆	
昭和60年 1月	F1 …… 総勘定元帳:画面
	F2 …… 総勘定元帳:印刷
	F3 …… 合計残高試算表 & 残高次月繰越:印刷
	F4 …… 貸借対照表:印刷
	F5 …… 損益計算書(累計):印刷
	F6 …… 損益計算書(月計):印刷
	F7 …… #####
	F10 …… メイン・メニュー
	番号を選択して下さい

図—5 財務諸表メニュー

◆ 繰越金処理メニュー ◆	
昭和60年 1月	F1 …… 今期首残高の初期設定・修正
	F2 …… #####
	F3 …… 今月末残高のバック・アップ
	F4 …… #####
	F5 …… #####
	F6 …… #####
	F7 …… 年度末処理
	F10 …… メイン・メニュー
	番号を選択して下さい

図—6 繰越金処理メニュー

各メニューにおいて、項目の選択はファンクション・キーかテン・キーで行う（F 10 はファンクション・キーか、テン・キーの 0）。

図—3 のメイン・メニューを見ればわかるように、登録済の勘定科目のコード表、摘要コード表を印刷することができる（F 6, F 7）。

5. 期首残高の初期設定・修正

このプログラムを初めて実行するには、指定年月の期首残高をまず入力する。図—6 のサブ・メニューで F 1 を選択すると、画面に図—7 が表われる。科目コードを入力すると、勘定科目名と、現残高が出力される。必要な科目について金額を入力、又は修正する。

◆ 今月期首残高:入力/修正 ◆

科目コードを入力して下さい

0 ----- end

科目: 01 現 金 53,818

これで良いですか 科目変更 ----- [N] or [CL]

変更なし ----- [HOME]

金額変更 ----- [Space Key] or [I]

図—7 期首残高の入力・修正

(プログラム7) 期首残高の設定・修正

```

2210 REM -----
2220 REM               今月期首残高の設定・修正
2230 REM -----
2240 Q=1 : TITLE$="今月期首残高:入力/修正":TK$="科目コードを入力して下さい"
2250 XOPEN #10,ZENFL$:FOR G=1 TO NKAMOKU:INPUT #10(G),U(G) : NEXT G :CLOSE #10
2260 GOSUB 2280:XOPEN #10,ZENFL$
2270 FOR G=1 TO NKAMOKU : PRINT #10(G),U(G) : NEXT G : CLOSE #10 : RETURN
2280 REM -----
2290 REM               サブルーチン BOX-2(TITLE$,TK$,Q)
2300 REM -----
2310 CONSOLE LO#25 : PRINT[7] CHR$(6):BOX 0,8,639,391:LINE 0,56,639,56
2320 CURSOR 1,2:XPRINT[7] TAB(18):"◆ ":XPRINT[2]TITLE$:XPRINT[7]"◆";
2330 BOX 160,72,480,64+64
2340 CURSOR 25,6:XPRINT[5] TK$ : IF Q=0 THEN CURSOR 20,10 :XPRINT SEN$
2350 CURSOR 31,12:XPRINT[7] " 0 ----- end "
2360 CURSOR 25,14:XPRINT[7] "科目: ";BOX[2] 31*8,13*16,40*8,15*16+8
2370 X=32:Y=14:L=2:AR=1:GOSUB 3830:KA$=D$
2380 D$=KA$ : GOSUB 4350: IF ER$="1" THEN MUSIC"--CO" : GOTO 2370
2390 KA=VAL(KA$) : IF KA=0 THEN 2770
2400 IF (KA<1)+(KA>NKAMOKU) THEN 2370
2410 CURSOR 43,14:XPRINT[2] A$(KA)
2420 IF Q=0 THEN 2480
2430 X$=STR$(U(KA)) : KL=12 : GOSUB 4480: CURSOR 50,16 : PRINT[7] X$
2440 OK$="これで良いですか " : CURSOR 10,18:XPRINT[4] OK$
2450 CURSOR 30,18:XPRINT[6]"科目変更 ----- [N] or [CL]"
2460 CURSOR 30,20:XPRINT[6]"変更なし ----- [HOME]"
2470 CURSOR 30,22:XPRINT[6]"金額変更 ----- [Space Key] or [X]" : GOTO 2510
2480 OK$="これで良いですか " : CURSOR 10,17:XPRINT[4] OK$
2490 CURSOR 50,18:PRINT[6]"NO ---- [N] or [CL]"
2500 CURSOR 50,20:PRINT[6]"YES --- [SPACE KEY] or [X]"
2510 GET X$ : IF X$="" THEN 2510
2520 IF (X$="N")+(ASC(X$)=6) THEN I1=12 : GOTO 2600
2530 IF (Q=0)*((X$="N")+(ASC(X$)=6)) THEN I1=12 : Q=1 : GOTO 2600
2540 IF (Q=0)*((ASC(X$)=13)+(X$=" ")) THEN MUSIC"++COR3" : RETURN
2550 IF (Q=1)*((ASC(X$)=13)+(X$=" ")) THEN MUSIC"++COR3" : I1=18 : GOTO 2600
2560 IF (Q=2)*((ASC(X$)=13)+(X$=" ")) THEN GOTO 2570ELSE GOTO 2580
2570 LINE[2] 352,368,480,368:U(KA)=VAL(U$):MUSIC"+CO+GO+EO":I1=12:GOTO 2600
2580 IF (Q=1)*((ASC(X$)=5) THEN I1=12 : GOTO 2600
2590 MUSIC"--COR3":GOTO 2510
2600 FOR I=I1 TO 23
2610 CURSOR 3,I : PRINT SPACE$(75) : NEXT
2620 IF (Q=2)*((ASC(X$)=13)+(X$=" ")) THEN Q=1 : GOTO 2350
2630 IF (Q=2)*((X$="N")+(ASC(X$)=6)) THEN Q=1 : I1=12 : GOTO 2600
2640 IF (Q=1)*((X$="N")+(ASC(X$)=6)) THEN Q=1 : GOTO 2350
2650 IF (Q=1)*((ASC(X$)=13)+(X$=" ")) THEN Q=1 : GOTO 2690
2660 IF (Q=1)*((ASC(X$)=5) THEN 2350
2670 GOTO 2350
2680 REM -----
2690 CURSOR 5,22 : XPRINT[5] "今月期首残高を入力して下さい。"
2700 X=45 : Y=22 :L=8 : GOSUB 3830:U$=D$ : X$=D$
2710 IF LEFT$(D$,1)="/" THEN 2730
2720 GOSUB 4350: IF ER$="0" THEN 2740
2730 Q=2 : I1=12 : X$=" " : GOTO 2600
2740 KL=12:GOSUB 4480
2750 CURSOR 45,22 : PRINT X$
2760 Q=2 : GOTO 2480
2770 RETURN

```

6. 伝票入力・修正

伝票は振替伝票で行なう。入金，出金伝票を用いると，3種類もの伝票を手元で管理しなければならないので，振替伝票入力のみとした。

図一4の仕訳伝票メニューでF1を選択すると，図一8の伝票入力画面が表われる。

まず，日付・借方科目コード・貸方科目コードを入力する。2ケタで入力すれば，リターン・キーなしで済む。そして，金額を入力。(MZ—5500シリーズでは，テン・キーに，00,000のキーが無いので，使用していないキーをこの2つに割り合てた)。次に摘要の入力。

『摘要をつけますか？(Y/N/C)』というメッセージが出る。

Nはnoで摘要をつけない。Yはyesで摘要の通常入力，Cはcodeでコード入力を意味する。通常入力Yの場合には，画面右下に摘要作成欄が表われます。カナ漢字変換等で漢字を15文字まで入力できます。コード入力の場合は4ケタのコード番号を入力する。

仕訳伝票入力		伝票日付	昭和60年01月15 日	伝票
借方科目	貸方科目	金額	摘要	NO
35 通 信 費	01 現 金	2,350	3503 ダイレクトメール切手代	9
34 旅 費 交 通 費	01 現 金	59,800	3402 東京へ	10

追加しますか？(Y/N)

図一8 摘要のコード入力

図一8はコード番号3402を入力して「東京へ」という摘要が表われた画面です。画面の左下に『追加しますか？(Y/N)』というメッセージが出る。Yキーを押すと，摘要作成欄が，コード入力済の摘要と一緒に表われる(図一9)。コード入力した摘要へ，通常入力を用いてさらに摘要を追加する事ができる。

仕訳伝票入力		伝票日付	昭和60年01月15 日	伝票
借 方 科 目	貸 方 科 目	金 額	摘 要	NO
35 通 信 費	01 現 金	2,350	3503 ダイレクトメール切手代	9
34 旅 費 交 通 費	01 現 金	59,800	3402 東京へ	10
摘 要				
東京へ 新幹線乗車券				

図— 9 摘要の追加

日付の変更は、日付欄か、借方科目コードへ / を入力して、リターン・キーを押す。又、伝票入力終了は // を入力する。

仕訳の修正は、仕訳伝票メニュー（図— 4）で F 7 を選択する。そして、修正したい、伝票の番号を入力すると、図— 10 の様な画面が表われる。上方の伝票を参考にしながら、下方の欄で新しい伝票を作る。

プログラム 8 で伝票入力し、プログラム 9 で修正する。

振替伝票修正 何番の仕訳を修正しますか？

番号を入力して [1]キーを押してください 9 // --- 終わり

15日 伝票NO 0009

借 方 科 目	貸 方 科 目	金 額	摘 要
34 旅 費 交 通 費	1 現 金	58,500	東京へ 新幹線乗車券

この伝票を修正しますか？（Y/N）

--	--	--	--

図— 10 伝票の修正

(プログラム 8) 仕訳入力

```

5160 REM -----
5170 REM                      仕 訳 入 力
5180 REM -----
5190 CONSOLE GH,UH:NB=N
5200 J=N
5210 PRINT CHR$(6) : GOSUB 8460: RESTORE 8560: JMAX=P : GOSUB 8680
5220 CURSOR 58,1 : PRINT Y>$
5230 CURSOR 62,1 : PRINT MT$
5240 AR=1:X=66:Y=1:L=2:GOSUB 3830: IF LEFT$(D$,2)="/" THEN N=J:GOTO 5690
5250 GOSUB 4350: IF ER$="1" THEN 5240
5260 J1=J+1:R(J1)=VAL(D$): IF (R(J1)<1)+(R(J1)>31) THEN 5240
5270 K=0
5280 J=J+1
5290 CURSOR 75,5+3*K : PRINT J
5300 AR=1:X=2:Y=5+3*K:L=2:GOSUB 3830: IF LEFT$(D$,2)="/" THEN N=J-1:GOTO 5690
5310 IF LEFT$(D$,1)="/" THEN J=J-1:GOTO 5210
5320 GOSUB 4350: IF ER$="1" THEN 5300
5330 G(J)=VAL(D$) : IF G(J)>NKAMOKU THEN 5300
5340 CURSOR 1,6+3*K : XPRINT A$(G(J))
5350 AR=1:X=22:Y=5+3*K:L=2:GOSUB 3830
5360 GOSUB 4350: IF ER$="1" THEN 5350
5370 K(J)=VAL(D$) : IF K(J)>NKAMOKU THEN 5350
5380 CURSOR 21,6+3*K : XPRINT A$(K(J))
5390 AR=0:X=41:Y=6+3*K:L=8:GOSUB 3830
5400 AR=1:GOSUB 4350: IF ER$="1" THEN 5390
5410 DU=VAL(D$)
5420 X$=STR$(DU):GOSUB 4170
5430 CURSOR 41,6+3*K : X$=XK$: KL=11 : GOSUB 4300: PRINT X$
5440 H(J)=VAL(D$)
5450 X=0 : Y=21 : SP=0 : C=6
5460 YN$="摘要をつけますか? (Y/N/C) "
5470 CODE=1 : GOSUB 740
5480 IF YN=0 THEN B$(J)="" : GOTO 5510
5490 X=54:Y=5+3*K:P=X-1:Q=Y+1:TE$="":TT$="":ON YN GOSUB 5820,5920: B$(J)=TE$
5500 REM -----
5510 MUSIC"+CORD+CORD+CO"
5520 YN$="訂正がありますか? (Y/N) ": X=10:Y=21:C=2:SP=15 : GOSUB 740
5530 IF YN=1 THEN MUSIC"R3":GOTO 5550
5540 IF YN=0 THEN MUSIC"R3":GOTO 5590
5550 CURSOR 1,6+3*K : PRINT SPACE$(9)
5560 CURSOR 21,6+3*K : PRINT SPACE$(19)
5570 CURSOR 41,6+3*K : PRINT SPACE$(11)
5580 CURSOR 53,6+3*K : PRINT SPACE$(19) :GOTO 5300
5590 R(J+1)=R(J)
5600 IF K=4 THEN 5620
5610 K=K+1 : GOTO 5280
5620 FOR L=0 TO 4 :FOR I=-1 TO 0
5630 CURSOR 1,6+3*L+I : PRINT SPACE$(19)
5640 CURSOR 21,6+3*L+I : PRINT SPACE$(19)
5650 CURSOR 41,6+3*L+I : PRINT SPACE$(11)
5660 CURSOR 53,6+3*L+I : PRINT SPACE$(19)
5670 CURSOR 73,6+3*L+I : PRINT SPACE$(5): NEXT I:NEXT L
5680 GOTO 5270
5690 REM -----
5700 PRINT CHR$(6)
5710 LINE[6] 184,64,408,64:LINE[6] 184,112,408,112:LINE[6]184,160,408,160
5720 LINE[6]184,64,184,160:LINE[6] 296,64,296,160 :LINE[6]408,64,408,160
5730 RESTORE 9030:JMAX=3:GOSUB 8690
5740 CURSOR 27,8:PRINT N-NB : CURSOR 42,8 : PRINT N : MUSIC"R3"
5750 IF N=NB THEN PRINT CHR$(6) : RETURN
5760 GOSUB 920: REM Save Subroutine
5770 REM PRINT CHR$(6):X=10:Y=15:YN$="仕訳リストを印刷しますか ? (Y/N) "
5780 SP=0:GOSUB 740
5790 IF A$="Y" THEN N1=NB+1:N2=N:GOSUB 4790: GOTO 5810
5800 IF A$="N" THEN 5810
5810 PRINT CHR$(6):RETURN
5820 REM ----- 摘 要 -----
5830 CURSOR 0,21:PRINT SPACE$(79):CURSOR 45,20:XPRINT[5]"摘 要"
5840 CURSOR 40,21:PRINT[6]" "
5850 PRINT CHR$(10):CURSOR 40,22:XPRINT:TE$
5860 CURSOR 40+LEN(TT$),22:INPUT " ";X$: IF LEN(TE$)>0 THEN X$=RIGHT$(X$,LEN(TE$)-2)
5870 T1$=LEFT$(TE$+X$,28)
5880 CURSOR P,Q:XPRINT T1$:CURSOR 40,22 : PRINT SPACE$(60)
5890 CURSOR 0,21:PRINT SPACE$(79):PRINT CHR$(14):TE$=TE$+X$
5900 CURSOR 45,20:XPRINT " "
5910 RETURN
5920 REM ----- 摘 要 コ ー ド 入 力 -----
5930 L=4 : GOSUB 3830
5940 C=VAL(D$) : C1=INT(C/100) : C2=C-C1*100
5950 TE$=TEKIYOU$(C1,C2):L=LEN(TE$):CURSOR P,Q:XPRINT TE$
5960 TT$=LEFT$(TE$,LEN(TE$)-4)
5970 YN$="追加しますか? (Y/N) ": X=10:Y=21:C=2:SP=15 : GOSUB 740
5980 IF YN=1 THEN TE$=LEFT$(TE$,L-2) : GOTO 5820
5990 IF YN=0 THEN RETURN ELSE GOTO 5970

```

(プログラム 9) 仕訳の修正

```

6360 REM -----
6370 REM          仕 訳 修 正
6380 REM -----
6390 CONSOLE GH,UH : XOPEN #1,SWKFL$ : TMIN=T : NS=0
6400 CURSOR 5,1:XPRINT[2]"振替伝票修正":CURSOR 60,3:XPRINT "// --- 終わり"
6410 IF N=0 THEN CURSOR 10,10:XPRINT[2]"仕訳入力無し":MUSIC"+CORO+COR5":RETURN
6420 LINE 0,120,639,120:LINE 0,152,639,152:LINE 0,200,639,200
6430 LINE 0,120,0,200:LINE 639,120,639,200
6440 LINE 168,120,168,200:LINE 328,120,328,200:LINE 430,120,430,200
6450 LINE[1] 0,248,639,248:LINE[1] 0,296,639,296
6460 LINE[1] 0,248,0,296:LINE[1] 639,248,639,296
6470 LINE[1] 168,248,168,296:LINE[1] 328,248,328,296:LINE[1] 430,248,430,296
6480 CURSOR 3,8:XPRINT"借 方 科 目":CURSOR 23,8:XPRINT"貸 方 科 目":
6490 CURSOR 43,8:XPRINT"金 額":CURSOR 58,8:XPRINT"摘 要"
6500 CURSOR 20,1:XPRINT"何番の仕訳を修正しますか? ":X=45:Y=3:L=3
6510 CURSOR 2,3:XPRINT"番号を入力して [X]キーを押してください":GOSUB 3830
6520 IF LEFT$(D$,2)="/" THEN 7030 ELSE GOSUB 4350 : IF ER$="1" THEN 6500
6530 J=VAL(D$):IF J=0 THEN 7030
6540 IF J>N THEN 6510
6550 INPUT #1(J*2-1),Z2$:INPUT #1(J*2),Z1$:GOSUB 4640:X$=STR$(J):KL=4:GOSUB 4330
6560 CURSOR 8,5:XPRINT SR;"日 伝票 NO ";X$
6570 CURSOR 2,10:PRINT SG:CURSOR 1,11:XPRINT A$(SG)
6580 CURSOR 23,10:PRINT SK:CURSOR 22,11:XPRINT A$(SK)
6590 X$=GH$:KL=11:GOSUB 4480:CURSOR 42,11:PRINT X$:CURSOR 54,11:XPRINT SB$
6600 REM .....
6610 X=10:Y=14:C=2:SP=0:YN$="この伝票を修正しますか ? (Y/N)"
6620 GOSUB 740: IF A$="Y" THEN 6640
6630 IF A$="N" THEN MUSIC"+CO":GOTO 6910
6640 REM 修正 :CURSOR 10,14:PRINT SPACE$(69)
6650 AR=1:X=5:Y=14:L=2:CURSOR X,Y:XPRINT" 日"
6660 GOSUB 3830:X$=LEFT$(D$,1):IF X$="/" THEN 6910
6670 GOSUB 4350:IF ER$="1" THEN 6650
6680 RN=VAL(D$):IF RN=0 THEN RN=SR:GOTO 6700
6690 IF (RN<1)+(RN>31) THEN MUSIC"--CO":GOTO 6650
6700 CURSOR X-2,Y:PRINT D$
6710 X=2:Y=16:L=2:GOSUB 3830:IF (LEFT$(D$,1)="/" )+(VAL(D$)=0) THEN 6920
6720 GOSUB 4350:IF ER$="1" THEN 6710
6730 GN=VAL(D$):IF GN>NKAMOKU THEN 6710
6740 CURSOR 1,17:XPRINT A$(GN)
6750 X=23:Y=16:L=2:GOSUB 3830:GOSUB 4350:IF ER$="1" THEN 6750
6760 KN=VAL(D$):IF KN>NKAMOKU THEN 6750
6770 CURSOR 22,17:XPRINT A$(KN)
6780 X=42:Y=17:L=8:GOSUB 3830:GOSUB 4350:IF ER$="1" THEN 6780
6790 HN=VAL(D$):X$=D$:KL=11:GOSUB 4480:CURSOR 42,17:PRINT X$
6800 SP=0:X=0:Y=21:C=2:YN$="摘要をつけますか? (Y/N/C)"
6810 CODE=1 : GOSUB 740: IF YN=0 THEN SB$="":GOTO 6830
6820 P=54:Q=17:X=55:Y=16:TE$="":TT$="": ON YN GOSUB 5820,5920: SB$=TE$
6830 CURSOR 0,21:PRINT SPACE$(79) :MUSIC"+CORO+CORO+CO"
6840 SP=15:X=16:Y=21:C=2:YN$="訂正がありますか ? (Y/N)"
6850 GOSUB 740: IF A$="N" THEN 6870
6860 IF A$="Y" THEN EE=1: GOTO 6960
6870 R(J)=RN:G(J)=GN:K(J)=KN:H(J)=HN:B$(J)=SB$:GOSUB 4510
6880 PRINT #1(J*2-1),Z2$ : PRINT #1(J*2),Z1$
6890 NS=NS+1 : IF TMIN<>0 THEN TMIN=TMIN-1
6900 IF J<TMIN THEN TMIN=J
6910 REM .....
6920 CURSOR 4,3:PRINT SPACE$(30):CURSOR 0,5:PRINT SPACE$(79)
6930 CURSOR 1,10:PRINT SPACE$(5):CURSOR 1,11:PRINT SPACE$(18)
6940 CURSOR 22,10:PRINT SPACE$(5):CURSOR 22,11:PRINT SPACE$(18)
6950 CURSOR 42,11:PRINT SPACE$(11):CURSOR 54,11:PRINT SPACE$(26)
6960 CURSOR 1,16:PRINT SPACE$(5):CURSOR 1,17:PRINT SPACE$(18)
6970 CURSOR 22,16:PRINT SPACE$(5):CURSOR 22,17:PRINT SPACE$(18)
6980 CURSOR 42,17:PRINT SPACE$(11):CURSOR 54,17:PRINT SPACE$(26)
6990 CURSOR 0,14:PRINT SPACE$(50):CURSOR 0,21:PRINTSPACE$(79)
7000 CURSOR 55,16:PRINT SPACE$(7)
7010 IF EE=1 THEN EE=0 : GOTO 6610
7020 GOTO 6500
7030 REM .....
7040 CLOSE #1 : IF NS=0 THEN RETURN
7050 XOPEN #2,MNFL$:T=0:KU=0:PRINT #2(NKAMOKU+2),T,KU:CLOSE #2
7060 PRINT CHR$(6):PRINT[2]"DELETE MCFL$":FOR G=1 TO NKAMOKU:IF DN(G)=0 THEN 7090
7070 C$=STRING$(0,2-LEN(STR$(G)))+STR$(G):MCFL$="B:M+C$+"-"+Y9$+MT$+" . BRD"
7080 DELETE MCFL$ : DN(G)=0
7090 NEXT
7100 RETURN

```

仕訳帳は、画面とプリンタへ出力できる。画面では摘要は出さなかった。
プログラム 10 は仕訳帳を印刷するプログラムである。

(プログラム 10) 仕訳帳の印刷

```

4730 REM -----
4740 REM          仕 訳 帳 作 成
4750 REM -----
4760 IF N>0 THEN 4780 ELSE PRINT CHR$(6) : CURSOR 10,10
4770 XPRINT [2] "仕訳入力無し":MUSIC"++CORO++COR?":RETURN
4780 N1=1 : N2=N : REM Read File N1 to N2 : GOSUB 1000
4790 J=N1:JJ=1:PG=1 : SUM=0
4800 IF PG>1 THEN PRINT/P CHR$(60C)
4810 PRINT/P :PRINT/P:PRINT/P:PRINT/P
4820 RESTORE 10150: GOSUB 10680
4830 XPRINT/P SPACE$(10);KY$;"年";KO$;"月";"      PAGE ";PG
4840 PRINT/P
4850 RESTORE 10170: FOR I=1 TO 6 : GOSUB 10680: NEXT
4860 PRINT/P:PRINT/P STRING$("-",95)
4870 IF PG=1 THEN 4900
4880 XPRINT/P SPACE$(21);" -- 前 頁 繰 越 -- ";
4890 XPRINT/P TAB(60);SUM$
4900 LIN=15
4910 X$=STR$(J):KL=4:GOSUB 4320:Z$=X$
4920 X$=STR$(R(J)) : KL=2 : GOSUB 4300: DY$=X$
4930 XPRINT/P YR$;".";MA$;".";DY$;TAB(11);Z$;
4940 IG$=STR$(G(J)) : IF G(J)<10 THEN IG$="0"+IG$
4950 XPRINT/P TAB(18);A$(G(J));"(";IG$;")";
4960 IK$=STR$(K(J)) : IF K(J)<10 THEN IK$="0"+IK$
4970 XPRINT/P SPACE$(4);A$(K(J));"(";IK$;")";
4980 X$=STR$(H(J)):KL=12:GOSUB 4480:HH$=X$
4990 XPRINT/P TAB(57);HH$;"      ";B$(J)
5000 SUM=SUM+H(J)
5010 IF J=N2 THEN 5050
5020 LIN=LIN+1:J=J+1:JJ=JJ+1
5030 IF LIN>=65 THEN 5050
5040 GOTO 4910
5050 X$=STR$(SUM):KL=12:GOSUB 4480:SUM$=X$
5060 IF J=N2 THEN 5110
5070 PRINT/P STRING$("-",95)
5080 XPRINT/P SPACE$(21);" -- 次 頁 繰 越 -- ";
5090 XPRINT/P TAB(60);SUM$
5100 PG=PG+1 : GOTO 4800
5110 PRINT/P STRING$("-",95)
5120 XPRINT/P SPACE$(21);" --- 合 計 --- ";
5130 X$=STR$(SUM):KL=12:GOSUB 4480:SUM$=X$
5140 XPRINT/P SPACE$(12);SUM$
5150 PRINT/P STRING$("=",95) :PRINT/P CHR$(60C): RETURN

```



```

1590 XPRINT/P TAB(19);"前 頁 繰 越";
1600 PRINT/P TAB(40);S1$;TAB(55);S2$;TAB(70);ZAN$
1610 GOTO 1640
1620 XPRINT/P TAB(19);"前 月 繰 越";
1630 X$=ZAN$;KL=12:GOSUB 4480:UZ$=X$:XPRINT/P TAB(70+T5);UZ$
1640 PRINT/P YR$;". ";MA$;". ";DY$;
1650 XPRINT/P TAB(12);DP$;
1660 XPRINT/P TAB(19);A$(VAL(AK$));"(:AK$;")";
1670 X$=H$;KL=12:GOSUB 4480:HH$=X$
1680 ON VAL(RL$)+1 GOTO 1690,1750
1690 REM PRINT/P TAB(40+T5);HH$;
1700 PRINT/P SPACE$(2);HH$;
1710 Q0=18 : S1=S1+VAL(H$)
1720 IF CODE(G)=1 THEN 1740
1730 ZAN=ZAN+VAL(H$) : GOTO 1810
1740 ZAN=ZAN-VAL(H$) : GOTO 1810
1750 REM PRINT/P TAB(55+T5);HH$;
1760 PRINT/P SPACE$(17);HH$;
1770 Q0=3 : S2=S2+VAL(H$)
1780 IF CODE(G)=1 THEN 1800
1790 ZAN=ZAN-VAL(H$) : GOTO 1810
1800 ZAN=ZAN+VAL(H$) : GOTO 1810
1810 X$=STR$(ZAN);KL=12:GOSUB 4480:ZAN$=X$
1820 XPRINT/P SPACE$(Q0);ZAN$;SPACE$(7);LEFT$(B$,32)
1830 LIN=LIN+1 : GLIN=GLIN+1
1840 IF GLIN<59 THEN 1900
1850 PRINT/P STRING$("-",120):X$=STR$(S1);KL=12:GOSUB 4480:S1$=X$
1860 X$=STR$(S2);KL=12:GOSUB 4480:S2$=X$
1870 XPRINT/P TAB(19);"次 頁 繰 越";
1880 PRINT/P TAB(40);S1$;TAB(55);S2$
1890 PRINT/P CHR$(%OC) : LIN=0 : GLIN=0 : PG=PG+1
1900 NEXT J
1910 REM -----
1920 PRINT/P STRING$("-",120)
1930 X$=STR$(S1);KL=12:GOSUB 4480:S1$=X$
1940 X$=STR$(S2);KL=12:GOSUB 4480:S2$=X$
1950 XPRINT/P TAB(19);"合 計";
1960 PRINT/P TAB(40+T5);S1$;TAB(55+T5);S2$
1970 XPRINT/P TAB(19);"前 月 繰 越";
1980 IF CODE(G)=0 THEN PRINT/P TAB(40+T5);UZ$ : GOTO 2000
1990 PRINT/P TAB(55+T5);UZ$
2000 XPRINT/P TAB(19);"次 月 繰 越";
2010 IF CODE(G)=0 THEN 2050
2020 UN(G)=S2+U(G)-S1
2030 X$=STR$(UN(G));KL=12:GOSUB 4480:UN$=X$
2040 PRINT/P TAB(40+T5);UN$ : GOTO 2080
2050 UN(G)=S1+U(G)-S2
2060 X$=STR$(UN(G));KL=12:GOSUB 4480:UN$=X$
2070 PRINT/P TAB(55+T5);UN$
2080 PRINT/P STRING$("-",120)
2090 IF CODE(G)=0 THEN 2110
2100 SG=S2+U(G) : GOTO 2120
2110 SG=S1+U(G)
2120 X$=STR$(SG);KL=12:GOSUB 4480:SG$=X$
2130 XPRINT/P TAB(19);"総 合 計";
2140 PRINT/P TAB(40+T5);SG$;TAB(55+T5);SG$
2150 CLOSE #1 :LIN=LIN+DN(G)+8:GLIN=GLIN+DN(G)+8
2160 PRINT/P STRING$("=",120): PRINT/P
2170 IF (G1<>G2)*((G=1)+(G=60)+(G=61)) THEN PRINT/P CHR$(%OC):LIN=0:GLIN=0
2180 NEXT G
2190 IF G1<>G2 THEN PRINT/P CHR$(%OC) ELSE GOTO 1350
2200 GOTO 1260

```

(プログラム 12) 合計残高試算表の印刷と残高の次月繰越

```

3180 REM -----
3190 REM          合  計  残  高  試  算  表  作  成  &  残  高  次  月  繰  越
3200 REM -----
3210 G1=1 : G2=NKAMOKU
3220 XOPEN #1,ZENFL$
3230 FOR G=1 TO NKAMOKU : INPUT #1(G),U(G) : NEXT G : CLOSE #1
3240 XOPEN #2,MNFL$ : INPUT #2(NKAMOKU+1),N : INPUT #2(NKAMOKU+2),I : INPUT #2
3250 IF T<>N THEN GOSUB 6000: REM ----- 仕  訳  デ ータ 転 記 -----
3260 PRINT CHR$(6) : BOX[2] 104,48,432,176,FS
3270 CURSOR 17,6:XPRINT"残  高  試  算  表  印  刷  中"
3280 CURSOR 30,8:XPRINT[6] "  昭和"+KY$+"年"+KO$+"月  "
3290 PRINT/P : RESTORE 10350: GOSUB 10680
3300 IF T>0 THEN 3330
3310 XPRINT/P SPACE$(20); "昭和";KY$;"年";KO$;"月1日":PRINT/P
3320 GOTO 3340
3330 XPRINT/P SPACE$(20); "昭和";KY$;"年";KO$;"月末日":PRINT/P
3340 RESTORE 10360: FOR I=1 TO 2 : GOSUB 10680: NEXT I : PRINT/P
3350 RESTORE 10420: FOR I=1 TO 7 : GOSUB 10680: NEXT I : PRINT/P
3360 PRINT/P STRING$("-",105) : T1=0:T2=0:T3=0:T4=0:T5=0:T6=0
3370 FOR G=G1 TO G2
3380 IF A$(G)="-" THEN 3670
3390 ZAN=U(G):S1=0:S2=0:X$=STR$(ZAN):KL=12:GOSUB 4480:U$=X$
3400 S1$=SPACE$(12) : S2$=SPACE$(12) : U$=SPACE$(12) : UN$=SPACE$(12)
3410 G$=STR$(G):IF G<10 THEN G$="0"+G$
3420 IF DN(G)<=0 THEN 3570
3430 MCFL$="B:M"+G$+"-"+Y9$+MT$ : XOPEN #1,MCFL$
3440 FOR J=1 TO DN(G) : INPUT #1(2*I-1),B$ : INPUT #1(2*I),X$
3450 RL$=LEFT$(X$,1):DY$=MID$(X$,2,2):DP$=MID$(X$,4,4)
3460 AK$=MID$(X$,8,2):H$=MID$(X$,10,8)
3470 ON VAL(RL$)+1 GOTO 3480,3520
3480 S1=S1+VAL(H$)
3490 IF CODE(G)=1 THEN 3510
3500 ZAN=ZAN+VAL(H$) : GOTO 3560
3510 ZAN=ZAN-VAL(H$) : GOTO 3560
3520 S2=S2+VAL(H$)
3530 IF CODE(G)=1 THEN 3550
3540 ZAN=ZAN-VAL(H$) : GOTO 3560
3550 ZAN=ZAN+VAL(H$) : GOTO 3560
3560 NEXT J : CLOSE #1
3570 X$=STR$(S1) : KL=12 : GOSUB 4480: S1$=X$
3580 X$=STR$(S2) : KL=12 : GOSUB 4480: S2$=X$
3590 X$=STR$(ZAN) : KL=12 : GOSUB 4480: UN$=X$
3600 X$=STR$(U(G)) : KL=12 : GOSUB 4480: U$=X$
3610 UN(G)=ZAN : IF CODE(G)=1 THEN 3650
3620 X=S2+U(G)-S1:T1=T1+ZAN:T2=T2+S1:T3=T3+U(G):T5=T5+S2
3630 XPRINT/P UN$;" " ;S1$;SPACE$(3);U$;" " ;A$(G);"(" ;G$;")";SPACE$(16);S2$
3640 GOTO 3670
3650 X=S1+U(G)-S2:T2=T2+S1:T4=T4+U(G):T5=T5+S2:T6=T6+ZAN
3660 XPRINT/P TAB(15);S1$;SPACE$(17);A$(G);"(" ;G$;")";" " ;U$;" " ;S2$;" " ;UN$
3670 IF (G=SIK)+(G=SIK+FUK)+(G=SIK+FUK+HIK) THEN PRINT/P
3680 NEXT G
3690 X$=STR$(T1) : KL=12 : GOSUB 4480: T1$=X$
3700 X$=STR$(T2) : KL=12 : GOSUB 4480: T2$=X$
3710 X$=STR$(T3) : KL=12 : GOSUB 4480: T3$=X$
3720 X$=STR$(T4) : KL=12 : GOSUB 4480: T4$=X$
3730 X$=STR$(T5) : KL=12 : GOSUB 4480: T5$=X$
3740 X$=STR$(T6) : KL=12 : GOSUB 4480: T6$=X$
3750 PRINT/P STRING$("-",105): A$="-  合  計  -"
3760 XPRINT/P T1$;SPACE$(3);T2$;SPACE$(3);T3$;
3770 XPRINT/P SPACE$(5);A$;SPACE$(3);T4$;SPACE$(3);T5$;SPACE$(3);T6$
3780 PRINT/P STRING$("-",105) : PRINT/P CHR$(#00)
3790 XOPEN #1,JZENFL$:FOR G=1 TO NKAMOKU:PRINT #1(G),UN(G):NEXT G:CLOSE #1
3800 KU=1:XOPEN #2,MNFL$:PRINT #2(NKAMOKU+3),KU:CLOSE #2
3810 RETURN

```

表—4、表—5 は貸借対照表と、損益計算の出力例である。損益計算書は累計（指定年の1月1日から指定月末まで）の出力と、月計（指定年月の1日から月末まで）の出力とを出せる。表—4 と表—5 は、パラメータを変えるだけで、一つのサブ・ルーチン（プログラム 13）で作る。

★ 貸 借 対 照 表 ★				昭和 6 0 年 1 月末日			
<----- 資産勘定 ----->				<----- 負債及び資本勘定 ----->			
【科 目 名】				【科 目 名】			
現 定 期 預 金(01)	金(01)	896,088		借 入 金(21)	金(21)	300,000	
普通預金 : T 銀(02)	金(02)	1,000,000		未 払 金(22)	金(22)	70,000	
普通預金 : O 銀(03)	金(03)	25,208		前 受 金(23)	金(23)	509,000	
普通預金 : M 銀(04)	金(04)	715,318		源泉課税 預り金(24)	金(24)	37,240	
普通預金 : M 銀(05)	金(05)	237,890		事 業 主 借(25)	金(25)	255,740	
郵便貯金(06)	金(06)	33,530		元 入 金(26)	金(26)	10,125,350	
定期預金(07)	金(07)	92,000					
教 材 庫(11)	庫(11)	358,910					
建 物(12)	物(12)	2,696,300					
構 築 物(13)	物(13)	97,060					
車 両(14)	両(14)	799,500					
備 品(15)	品(15)	831,200					
土 地(16)	地(16)	3,804,280					
事 業 主 貸(17)	貸(17)	0					
				--- 小 計 ---		11,297,330	
				純 利 益		289,852	
合 計		11,587,182		合 計		11,587,182	

表—4 貸借対照表

★ 損 益 計 算 書 ★				自 昭和 6 0 年 1 月 1 日 至 昭和 6 0 年 1 月末日			
<----- 損失勘定 ----->				<----- 利益勘定 ----->			
【科 目 名】				【科 目 名】			
教 材 仕 入(31)	入(31)	20,750		授 業 料(41)	料(41)	1,159,150	
公 租 公 課(32)	課(32)	0		教 材 売 上(42)	上(42)	61,500	
水 道 光 熱 費(33)	費(33)	39,538					
旅 費 交 通 費(34)	費(34)	5,500					
通 信 費(35)	費(35)	0					
告 宣 伝 費(36)	費(36)	9,500					
交 際 接 待 費(37)	費(37)	9,500					
交 損 害 保 險 料(38)	料(38)	28,700					
修 繕 費(39)	費(39)	0					
消 耗 品 費(40)	費(40)	13,760					
減 価 償 却 費(41)	費(41)	0					
福 利 厚 生 費(42)	費(42)	0					
給 料 賃 金(43)	金(43)	52,000					
支 払 利 息(44)	息(44)	0					
地 代 家 賃(45)	賃(45)	0					
保 健 衛 生 費(46)	費(46)	0					
研 修 費(47)	費(47)	0					
図 書 費(48)	費(48)	3,550					
印 刷 費(49)	費(49)	0					
教 材 費(50)	費(50)	0					
備 品 費(51)	費(51)	0					
固 定 資 産 除 却 損(52)	損(52)	0					
奨 学 費(53)	費(53)	0					
会 議 費(54)	費(54)	0					
事 業 主 報 酬(55)	酬(55)	200,000					
専 従 者 給 与(56)	与(56)	470,000					
--- 小 計 ---		929,798					
純 利 益		289,852					
合 計		1,219,650		合 計		1,219,650	

表—5 損益計算書

(プログラム 13) 貸借対照表及び損益計算書の印刷

```

7820 REM -----
7830 REM          貸 借 対 照 表
7840 REM -----
7850 XX=1:A$="貸 借 対 照 表"
7860 GOSUB 4000:GOSUB 12090
7870 XOPEN #1,JZENFL$ : FOR G=1 TO NKAMOKU:INPUT #1(G),UN(G):NEXT G:CLOSE #1
7880 IF XX=3 THEN XOPEN #3,ZENFL$ ELSE 7900
7890 FOR G=1 TO NKAMOKU:INPUT #3(G),UN(G):UN(G)=UN(G)-UN(G):NEXT G:CLOSE #3
7900 PRINT CHR$(6) : BOX[2] 104,48,432,176,F5
7910 CURSOR 17,6 : XPRINT " "+A$+" 印刷中"
7920 CURSOR 30,8:XPRINT[6] " 昭和"+KY$+"年"+KO$+"月 "
7930 PRINT/P:PRINT/P:PRINT/P:PRINT/P:PRINT/P
7940 ON XX GOTO 7950,7990,8020
7950 XPRINT/P SPACE$(21); "★ 貸 借 対 照 表 ★ ";
7960 XPRINT/P SPACE$(10); "昭和";KY$;"年";KO$;"月末日":PRINT/P
7970 XPRINT/P "<----- 資産勘定 ----->";
7980 XPRINT/P " <----- 負債及び資本勘定 ----->":GOTO 8070
7990 XPRINT/P SPACE$(21); "★ 損 益 計 算 書 ★ ";PRINT/P
8000 XPRINT/P SPACE$(10); "自 昭和";KY$;"年1月1日";
8010 XPRINT/P SPACE$(5); "至 昭和";KY$;"年";KO$;"月末日":PRINT/P :GOTO 8050
8020 XPRINT/P SPACE$(21); "★ 損 益 計 算 書 ★ ";PRINT/P
8030 XPRINT/P SPACE$(10); "自 昭和";KY$;"年";KO$;"月1日";
8040 XPRINT/P SPACE$(5); "至 昭和";KY$;"年";KO$;"月末日":PRINT/P
8050 XPRINT/P " <----- 損失勘定 ----->";
8060 XPRINT/P " <----- 利益勘定 ----->";
8070 XPRINT/P TAB(2); "【科 目 名】";TAB(46); " 【科 目 名】"
8080 PRINT/P STRING$( "-",79):S1=0:S2=0:Q=1
8090 ON XX GOTO 8100,8110,8110
8100 GS=1 : GF=SIK+1 : K1=SIK :K2=SIK+FUK : GOTO 8120
8110 K1=SIK+FUK+HIK : K2=K1+SYK : GS=SIK+FUK+1 : GF=GS+HIK
8120 IF (A$(GS)="-")*(GS<K1) THEN 8170
8130 IF (A$(GS)="-")*(GS<K1) THEN GS=GS+1 :GOTO 8120
8140 Q=0:S1=S1+UN(GS):GS$=STR$(GS):L=LEN(GS$):G1$=STRING$( "0",2-L)+GS$
8150 XPRINT/P SPACE$(2);A$(GS);"(";G1$;")";
8160 X$=STR$(UN(GS)):KL=12:GOSUB 4480:PRINT/P SPACE$(4);X$;
8170 IF (A$(GF)="-")*(GF<K2) THEN 8230
8180 IF (A$(GF)="-")*(GF<K2) THEN GF=GF+1 : GOTO 8170
8190 S2=S2+UN(GF):GF$=STR$(GF):L=LEN(GF$):G2$=STRING$( "0",2-L)+GF$
8200 XPRINT/P SPACE$(Q*35+11);A$(GF);"(";G2$;")";
8210 X$=STR$(UN(GF)):KL=12:GOSUB 4480:PRINT/P SPACE$(4);X$;
8220 REM .....
8230 IF (GS=K1)*(GF=K2) THEN 8270
8240 IF GS<K1 THEN GS=GS+1
8250 IF GF<K2 THEN GF=GF+1
8260 Q=1 :PRINT/P:GOTO 8120
8270 IF XX=1 ELSE 8300
8280 JR=S1-S2:X$=STR$(JR):KL=12:GOSUB 4480:JR$=X$:X$=STR$(S2):KL=12:GOSUB 4480
8290 S2$=X$:GOTO 8320
8300 JR=S2-S1:X$=STR$(JR):KL=12:GOSUB 4480:JR$=X$:X$=STR$(S1):KL=12:GOSUB 4480
8310 S1$=X$:GOTO 8350
8320 XPRINT/P TAB(44); " --- 小 計 --- ";TAB(69);S2$
8330 PRINT/P:XPRINT/P TAB(46); "純 利 益 ";TAB(69);JR$
8340 PRINT/P STRING$( "-",79):X$=STR$(S1):KL=12:GOSUB 4480:GOTO 8390
8350 PRINT/P:PRINT/P:XPRINT/P " --- 小 計 --- ";TAB(27);S1$
8360 PRINT/P:XPRINT/P TAB(3); "純 利 益 ";TAB(25);JR$
8370 PRINT/P STRING$( "-",79):X$=STR$(S2):KL=12:GOSUB 4480
8380 XPRINT/P TAB(3); "合 計 ";TAB(25);X$;
8390 XPRINT/P TAB(50); "合 計 ";TAB(71);X$
8400 PRINT/P STRING$( "=",79) : PRINT/P CHR$(100) : RETURN
8410 REM -----
8420 REM          損 益 計 算 書
8430 REM -----
8440 XX=2 : A$="損 益 計 算 書 (今年度) " : GOTO 7860
8450 XX=3 : A$="損 益 計 算 書 (今月分) " : GOTO 7860

```

以上が、この財務会計プログラムの大筋であるが、画面出力、ファイル関係、エラー処理、プリンタ・画面用漢字コードとその入力プログラムなどが残っている。又、メイン・メニュー (図-3) の繰越金処理のプログラムがある。

8. プログラム集

プログラム 14 によって、メイン・メニュー、サブ・メニューの画面を作る。プログラム 15 は画面仕訳帳、プログラム 16 は画面元帳のためのサブルーチン。

(プログラム 14) メニュー画面ルーチン

```

7110 REM -----
7120 REM          メニュー画面ルーチン   BOX(TITLE$,A1$,A2$,A3$,A4$,A5$,A6$,A0$)
7130 REM -----
7140 CONSOLE LO#25
7150 AS$="#####"
7160 IF A1$="" THEN A1$=AS$
7170 IF A2$="" THEN A2$=AS$
7180 IF A3$="" THEN A3$=AS$
7190 IF A4$="" THEN A4$=AS$
7200 IF A5$="" THEN A5$=AS$
7210 IF A6$="" THEN A6$=AS$
7220 IF A7$="" THEN A7$=AS$
7230 IF A0$="" THEN A0$=AS$
7240 PRINT[7] CHR$(6):BOX 0,8,639,391:LINE 0,60,639,60
7250 CURSOR 1,2:XPRINT[7] TAB(18);"◆";:XPRINT[2] TITLE$;:XPRINT[7]"◆";
7260 F1$="F 1  " : F2$="F 2  " : F3$="F 3  " : F4$="F 4  "
7270 F5$="F 5  " : F6$="F 6  " : F7$="F 7  " : F0$="F 1 0 "
7280 EQ$=" .... "
7290 CURSOR 1,4:XPRINT[6] "昭和";KY$;"年";KO$;"月"
7300 CURSOR 20,4:XPRINT[7] F1$;EQ$;A1$
7310 CURSOR 20,6:XPRINT[7] F2$;EQ$;A2$
7320 CURSOR 20,8:XPRINT[7] F3$;EQ$;A3$
7330 CURSOR 20,10:XPRINT[7] F4$;EQ$;A4$
7340 CURSOR 20,12:XPRINT[7] F5$;EQ$;A5$
7350 CURSOR 20,14:XPRINT[7] F6$;EQ$;A6$
7360 CURSOR 20,16:XPRINT[7] F7$;EQ$;A7$
7370 CURSOR 20,18:XPRINT[7] F0$;EQ$;A0$
7380 CURSOR 25,20:XPRINT[5] SEN$;" "
7390 BOX[2] 35,310,11*8,342
7400 CURSOR 50,18:GET X$:IF X$="" THEN 7400
7410 X=0
7420 IF (A1$<>AS$)*((ASC(X$)=16)+(X$="1")) ELSE 7440
7430 X=1 : AD$=KCHR$(JTRANS(49)) : GOTO 7580
7440 IF (A2$<>AS$)*((ASC(X$)=17)+(X$="2")) ELSE 7460
7450 X=2 : AD$=KCHR$(JTRANS(50)) : GOTO 7580
7460 IF (A3$<>AS$)*((ASC(X$)=18)+(X$="3")) ELSE 7480
7470 X=3 : AD$=KCHR$(JTRANS(51)) : GOTO 7580
7480 IF (A4$<>AS$)*((ASC(X$)=19)+(X$="4")) ELSE 7500
7490 X=4 : AD$=KCHR$(JTRANS(52)) : GOTO 7580
7500 IF (A5$<>AS$)*((ASC(X$)=20)+(X$="5")) ELSE 7520
7510 X=5 : AD$=KCHR$(JTRANS(53)) : GOTO 7580
7520 IF (A6$<>AS$)*((ASC(X$)=21)+(X$="6")) ELSE 7540
7530 X=6 : AD$=KCHR$(JTRANS(54)) : GOTO 7580
7540 IF (A7$<>AS$)*((ASC(X$)=22)+(X$="7")) ELSE 7560
7550 X=7 : AD$=KCHR$(JTRANS(55)) : GOTO 7580
7560 IF (A0$<>AS$)*((ASC(X$)=25)+(X$="0")) ELSE MUSIC "--CO":GOTO 7400
7570 X=10: AD$=KCHR$(JTRANS(49),JTRANS(48)) : GOTO 7580
7580 MUSIC"+CO":CURSOR 5,20:XPRINT[3]KCHR$($2346);AD$
7590 MUSIC"R3" : Y=X : IF X=10 THEN Y=8
7600 CURSOR 25,20:PRINTSPACE$(LEN(SEN$))
7610 BOX[2]154,125+(Y-3)*32,208,115+(Y-2)*32 : IF X=10 THEN 7700
7620 ON X GOTO 7630,7640,7650,7660,7670,7680,7690
7630 CURSOR 15,20:XPRINT[2] "*** ";A1$;" ***":GOTO 7710
7640 CURSOR 15,20:XPRINT[2] "*** ";A2$;" ***":GOTO 7710
7650 CURSOR 15,20:XPRINT[2] "*** ";A3$;" ***":GOTO 7710
7660 CURSOR 15,20:XPRINT[2] "*** ";A4$;" ***":GOTO 7710
7670 CURSOR 15,20:XPRINT[2] "*** ";A5$;" ***":GOTO 7710
7680 CURSOR 15,20:XPRINT[2] "*** ";A6$;" ***":GOTO 7710
7690 CURSOR 15,20:XPRINT[2] "*** ";A7$;" ***":GOTO 7710
7700 CURSOR 15,20:XPRINT[2] "*** ";A0$;" ***":GOTO 7710
7710 OK$="これで良いですか " : CURSOR 15,22:XPRINT[4]OK$
7720 CURSOR 35,22:XPRINT[6]"はい ---- スペース 又は [X] キー"
7730 CURSOR 35,23:XPRINT[6]"いいえ ---- [N] 又は [CL] キー"

```

```

7740 GET X$:IF X$="" THEN 7740
7750 IF (ASC(X$)=13)+(X$=" ") THEN GOTO 7810
7760 IF (X$="N")+(ASC(X$)=6) THEN 7240
7770 MUSIC "--COR3" : GOTO 7740
7780 FOR P=17 TO 23
7790 CURSOR 2,P:PRINT SPACE$(75)
7800 NEXT P : GOTO 7390
7810 RETURN

```

(プログラム 15) 画面仕訳帳の作成

```

10760 REM -----
10770 REM          画 面 仕 訳 帳 作 成
10780 REM -----
10790 IF N>0 THEN 10810ELSE PRINT CHR$(6) : CURSOR 10,10
10800 XPRINT [2] "仕訳入力無し":MUSIC"++CORO++COR9":RETURN
10810 CONSOLE LO#22:SYMBOL [5] 160,256,"しばらくお待ちください。",2,2
10820 N1=1 : N2=N : GOSUB 1000
10830 PRINT CHR$(6) : SUM=0 : PG=1:LIN=0
10840 FOR J=1 TO N
10850 X$=STR$(J):KL=3:GOSUB 4320:Z$=X$
10860 X$=STR$(R(J)):KL=2:GOSUB 4300:DY$=X$
10870 IF LIN>0 THEN 10960
10880 XPRINT[5] SPACE$(15);KY$;"年";KO$;"月";SPACE$(5);"仕 訳 帳";
10890 XPRINT SPACE$(10);" ページ ";PG
10900 XPRINT "日";" NO";TAB(11);"借 方 科 目";TAB(33);"貸 方 科 目";
10910 XPRINT TAB(55);"金 額";TAB(70);"累 計";TAB(74)
10920 PRINT STRING$("-",79)
10930 LIN=LIN+3:IF PG=1 THEN 10960
10940 XPRINT TAB(12);"前 頁 繰 越";
10950 PRINT TAB(66);SUM$
10960 PRINT DY$;" ";Z$;
10970 IG$=STR$(G(J)):IF G(J)<10 THEN IG$="0"+IG$
10980 XPRINT TAB(9);A$(G(J));TAB(24);"(";IG$;")";
10990 IK$=STR$(K(J)):IF K(J)<10 THEN IK$="0"+IK$
11000 XPRINT TAB(31);A$(K(J));TAB(46);"(";IK$;")";
11010 X$=STR$(H(J)):KL=12:GOSUB 4480:HH$=X$
11020 SUM=SUM+H(J)
11030 X$=STR$(SUM):KL=12:GOSUB 4480:SUM$=X$
11040 PRINT TAB(53);HH$;TAB(66);SUM$
11050 LIN=LIN+1 :IF J=N THEN 11070
11060 IF LIN<18 THEN 11180
11070 PRINT STRING$("-",79)
11080 IF J=N THEN XPRINT[5] TAB(5);"お わ り" : GOTO 11100
11090 XPRINT TAB(9);"次 頁 繰 越";
11100 LIN=0 : PG=PG+1
11110 CURSOR 30,21:XPRINT[6] "[H] ---- ハード・コピー ";
11120 XPRINT[3] "[X] キー ---- 次へ ";
11130 GET X$ : IF X$="" THEN 11130
11140 IF X$="H" THEN HCOPI : GOTO 11130
11150 IF ASC(X$)=13 THEN PRINT CHR$(6) : GOTO 11180
11160 IF X$="A" THEN 10830
11170 MUSIC"--CO" : GOTO 11130
11180 NEXT J
11190 CONSOLE LO#25 : RETURN

```

(プログラム 16) 画面元帳の作成

```

9060 REM -----
9070 REM          画 面 元 帳
9080 REM -----
9090 XOPEN #9,ZENFL$: FOR G=1 TO NKAMOKU : INPUT #9(G),U(G) : NEXT G :CLOSE
9100 PRINT CHR$(6)
9110 Q=0 : TITLE$="総勘定元帳: CRT":TK$="特定科目の元帳を作成" : GOSUB 2280
9120 G1=KA : G2=KA : IF KA=0 THEN CONSOLE LO#25 :RETURN
9130 CONSOLE LO#23
9140 IF T<>N THEN GOSUB 6000:REM ----- 仕 訳 デ ー タ 転 記 -----
9150 PRINT CHR$(6) : T5=0 : GLIN=0 : G=KA
9160 IF DN(G)>0 THEN 9220ELSE UN(I)=U(I) : MUSIC "+CORO+CO" :PRINT CHR$(6)
9170 CURSOR 10,10 : XPRINT[3] " [";A$(G);"] は今月の仕訳入力がありません。 "
9180 CURSOR 15,12 : XPRINT[3] "[X] キーを押してください。"
9190 GET X$ : IF X$="" THEN 9190
9200 IF ASC(X$)=13 THEN PRINT CHR$(6) : GOTO 9240
9210 MUSIC"--CO":GOTO 9190
9220 G$=STR$(G):IF G<10 THEN G$="0"+G$

```

```

9230 MCFL$="B:M"+G$+"-"+Y9$+MT$+".BRD" : XOPEN #1,MCFL$
9240 ZAN=U(G) : LIN=0 : S1=0 : S2=0 : PG=1
9250 X$=STR$(ZAN):KL=12:GOSUB 4350:ZAN$=X$ : UZ$=ZAN$
9260 FOR J=1 TO DN(G):IF DN(G)=0 THEN 9290ELSE INPUT #1(J*2),X$:RL$=LEFT$(X$,1)
9270 DY$=MID$(X$,2,2):DP$=MID$(X$,4,4):AK$=MID$(X$,8,2):H$=MID$(X$,10,8)
9280 IF LIN>0 THEN 9410
9290 XPRINT[5] " 【科目-";A$(G);"】";:PRINT[7]" CODE=";G$;"-";STR$(CODE(G));;
9300 XPRINT SPACE$(15);KY$;"年";KO$;"月";" PAGE ";PG : PRINT
9310 XPRINT "日";TAB(4);"NO";TAB(15);"科 目";TAB(38);"借方金額";
9320 XPRINT TAB(53);"貸方金額";TAB(69);"残 高"
9330 PRINT STRING$("-",79)
9340 LIN=LIN+3:IF PG=1 THEN 9380
9350 XPRINT TAB(12);"前 頁 繰 越";
9360 PRINT TAB(33);S1$;TAB(48);S2$;TAB(63);ZAN$
9370 GOTO 9410
9380 XPRINT TAB(12);"前 月 繰 越";
9390 X$=ZAN$:KL=12:GOSUB 4480:UZ$=X$: XPRINT TAB(63+T5);UZ$
9400 IF DN(G)=0 THEN 9730
9410 PRINT DY$;
9420 XPRINT TAB(5);RIGHT$(DP$,3);
9430 XPRINT TAB(12);A$(VAL(AK$));TAB(27);"(";AK$;")";
9440 X$=H$:KL=12:GOSUB 4480:HH$=X$
9450 ON VAL(RL$)+1 GOTO 9460,9520
9460 REM PRINT/P TAB(40+T5);HH$;
9470 PRINT TAB(33);HH$;
9480 Q0=18 : S1=S1+VAL(HH$)
9490 IF CODE(G)=1 THEN 9510
9500 ZAN=ZAN+VAL(HH$) : GOTO 9570
9510 ZAN=ZAN-VAL(HH$) : GOTO 9570
9520 PRINT TAB(48);HH$;
9530 Q0=3 : S2=S2+VAL(HH$)
9540 IF CODE(G)=1 THEN 9560
9550 ZAN=ZAN-VAL(HH$) : GOTO 9570
9560 ZAN=ZAN+VAL(HH$) : GOTO 9570
9570 X$=STR$(ZAN):KL=12:GOSUB 4480:ZAN$=X$
9580 PRINT TAB(63);ZAN$
9590 LIN=LIN+1 :IF J=DN(G) THEN LIN=LIN+7
9600 REM ----- :IF LIN<15 THEN 9720
9610 PRINT STRING$("-",79):X$=STR$(S1):KL=12:GOSUB 4480:S1$=X$
9620 X$=STR$(S2):KL=12:GOSUB 4480:S2$=X$
9630 XPRINT TAB(12);"次 頁 繰 越";
9640 PRINT TAB(33);S1$;TAB(48);S2$ : LIN=0 : PG=PG+1
9650 CURSOR 20,21:XPRINT[6] "[H] ---- ハード・コピー ";
9660 XPRINT[3] "[X] キー ---- 次へ"
9670 GET X$ : IF X$="" THEN 9670
9680 IF X$="H" THEN HCOPY : GOTO 9670
9690 IF ASC(X$)=13 THEN PRINT CHR$(6) : GOTO 9720
9700 IF X$="A" THEN PRINT CHR$(6) : GOTO 9240
9710 MUSIC"--CO" : GOTO 9670
9720 NEXT J
9730 IF PG=1 THEN 9780
9740 IF LIN>0 THEN 9780
9750 XPRINT[5] " 【科目-";A$(G);"】";:PRINT[7]" CODE=";G$;"-";STR$(CODE(G));;
9760 XPRINT SPACE$(15);KY$;"年";KO$;"月";" PAGE ";PG : PRINT
9770 XPRINT TAB(38);"借方金額";TAB(53);"貸方金額"
9780 PRINT STRING$("-",79)
9790 X$=STR$(S1):KL=12:GOSUB 4480:S1$=X$
9800 X$=STR$(S2):KL=12:GOSUB 4480:S2$=X$
9810 XPRINT TAB(12);"合 計";
9820 PRINT TAB(33+T5);S1$;TAB(48+T5);S2$
9830 XPRINT TAB(12);"前 月 繰 越";
9840 IF CODE(G)=0 THEN PRINT TAB(33+T5);UZ$ : GOTO 9860
9850 PRINT TAB(48+T5);UZ$
9860 XPRINT TAB(12);"次 月 繰 越";
9870 IF CODE(G)=0 THEN 9910
9880 UN(G)=S2+U(G)-S1
9890 X$=STR$(UN(G)):KL=12:GOSUB 4480:UN$=X$
9900 PRINT TAB(33+T5);UN$ : GOTO 9940
9910 UN(G)=S1+U(G)-S2
9920 X$=STR$(UN(G)):KL=12:GOSUB 4480:UN$=X$
9930 PRINT TAB(48+T5);UN$
9940 PRINT STRING$("-",79)
9950 IF CODE(G)=6 THEN 9970
9960 SG=S2+U(G) : GOTO 9980
9970 SG=S1+U(G)
9980 X$=STR$(SG):KL=12:GOSUB 4480:SG$=X$
9990 XPRINT TAB(12);"総 合 計";
10000 PRINT TAB(33+T5);SG$;TAB(48+T5);SG$
10010 IF DN(G)=0 THEN 10090 :LIN=LIN+DN(G)+8:GLINE=GLINE+DN(G)+8
10020 FOR I=1 TO 99 : XPRINT :FORCH$=2161 : : NEXT
10030 CURSOR 20,21:XPRINT[6] "[H] ---- ハード・コピー ";
10040 XPRINT[3] "[X] キー ---- 次へ"

```



```

10050 GET N$: IF N$="" THEN 10050
10060 IF L$="H" THEN HOPR: GOTO 10050
10070 IF A$=10$=13 THEN R110
10080 IF N$="A" THEN PRINT CHR$(4): GOTO 9230
10090 MUSIC="--00" : GOTO 10050
10100 GOTO R110
10110 REM -----

```

プログラム 17 と 18 でキー入力における誤操作への対処ができています。

(プログラム 17) キーボード入力処理

```

3820 REM -----
3830 REM          キーボードから入力
3840 D$="": REM -----
3850 L8=L : IF D$="" THEN D$=SPACE$(L8)
3860 CURSOR X,Y: XPRINT D$;
3870 LL=1: FI=0: IA=1: X1=X
3880 CU$="": CV$=MID$(D$, IA, 1)
3890 CURSOR X,Y: PRINT CU$;
3900 FOR I1=1 TO 3 : GET A$
3910 IF (A$<>"")*(FI=0) THEN FI=1: MUSIC="+GO": CURSOR X,Y: X=X+1: GOTO 3970
3920 IF (A$="")*(FI=1) THEN FI=0
3930 IF A$="" THEN NEXT
3940 IF FI=1 THEN NEXT
3950 IF CU$="" THEN CU$=CV$: GOTO 3890
3960 GOTO 3880
3970 A=ASC(A$)
3980 IF A>31 THEN PRINT A$;: GOTO 4080
3990 IF A=13 THEN PRINT CV$;: GOTO 4160
4000 IF ((A=4)+(A=7)+(A=12))*(IA=1) THEN X=X-1: GOTO 3880
4010 IF A=7 THEN X=X-2: D$=LEFT$(D$, IA-2)+RIGHT$(D$, L8-(IA-1))+ " "
4020 IF A=7 THEN CURSOR X1,Y: XPRINT D$;: IA=IA-2: GOTO 4130
4030 IF A=3 THEN A$=CV$: PRINT A$;
4040 IF A=4 THEN PRINT CU$;: A$=MID$(D$, IA-1, 1): CV$=A$
4050 IF A=4 THEN X=X-2: CURSOR X,Y: PRINT A$;: IA=IA-2: GOTO 4130
4060 IF (A=1)+(A=2)+(A=5)+(A=6) THEN PRINT CV$;: X=X-1: GOTO 3880
4070 IF A=8 THEN CURSOR X1,Y: XPRINT D$;: CV$="": IA=IA-1: GOTO 4130
4080 IF A=142 THEN CURSOR X1,Y: D$=D$+"000": PRINT D$;: RETURN
4090 IF A=141 THEN CURSOR X1,Y: D$=D$+"00": PRINT D$;: RETURN
4100 PRINT " ";
4110 WA$=LEFT$(D$, IA-1): WB$=RIGHT$(D$, L8-IA)
4120 D$=WA$+A$+WB$
4130 IF IA<L8 THEN IA=IA+1: GOTO 3880
4140 IF ((IA=L8)+(D$<>""))*(A=1) THEN RETURN
4150 X=X-1: 3880
4160 RETURN

```

(プログラム 18) エラー処理

```

4350 REM -----
4360 REM          ER$ (0=OK , 1=ERROR)
4370 ER$="1" : LG=0
4380 IF LEN(D$)=0 THEN RETURN
4390 FOR IS=1 TO LEN(D$)
4400 QQ$=MID$(D$, IS, 1)
4410 IF (IS=1)*(QQ$="-") THEN 4450
4420 IF QQ$=" " THEN 4450
4430 IF (QQ$<"0")+(QQ$>"9") THEN RETURN
4440 LG=LG+1
4450 NEXT IS
4460 IF LG=0 THEN RETURN
4470 ER$="0" : RETURN

```

このプログラム作成の初期では、PRINT USING というステートメントが使えなかった。従って、数字にカンマをつけるために、数字を文字型にして、カンマを付けた。桁数をそろえるために、文字化した数字の前に、スペースを幾つか加えた。そのためのプログラムが、プログラム 19 である。

(プログラム 19)

```

4480 REM ----- X$ (STR$) カンマ(L=LEN) , スペース (KL=LEN) -----
4490 GOSUB 4170: X$=XK$ : GOSUB 4290: RETURN

4170 REM ----- カンマ ----- X$ XK$ -----
4180 XK$=""
4190 X=VAL(X$): IF (0<=X)*(X<999) THEN XK$=X$: RETURN
4200 SG$="": IF VAL(X$)<0 THEN SG$="-"
4210 X=ABS(VAL(X$)) : X$=STR$(X) : L=LEN(X$)
4220 NC=INT((L-1)/3)
4230 IF L<4 THEN XK$=SG$+X$ : RETURN
4240 FOR I=1 TO NC
4250 XK$=","+MID$(X$,L-3*I+1,3)+XK$
4260 NEXT I
4270 XK$=LEFT$(X$,L-3*NC)+XK$
4280 XK$=SG$+XK$ : RETURN
4290 REM -----
4300 SL=LEN(X$): IF SL>=KL THEN RETURN
4310 X$=SPACE$(KL-SL)+X$ : RETURN
4320 REM -----
4330 L=LEN(X$): IF L>=KL THEN RETURN
4340 X$=STRING$( "0",KL-L)+X$ : RETURN

```

(プログラム 20) 文字の点滅

```

740 REM ----- Sub. of INPUT -----
750 REM SP ----- 点滅のスピード SP=10
760 REM YN$,C ----- 点滅させる文字,色
770 REM (X,Y) ----- 点滅させる位置
780 CURSOR X,Y : XPRINT[C] YN$
790 FOR S1=1 TO 2 : FOR S2=1 TO SP : GET A$
800 IF (A$="Y")+(A$="y")+(A$="ン")+(A$="") THEN YN=1 : GOTO 880
810 IF ((A$="C")+(A$="c")+(A$="ッ")+(A$=""))*(CODE=1) THEN YN=2 : GOTO 880
820 IF (A$="N")+(A$="n")+(A$="ニ")+(A$="") THEN YN=0 : GOTO 880
830 IF A$<>" " THEN MUSIC "--C0"
840 NEXT S2 : IF (S1=1)*(SP>0) THEN CURSOR X,Y : PRINT SPACE$(79-X):GOTO 860
850 CURSOR X,Y : XPRINT[C] YN$
860 NEXT S1
870 GOTO 790
880 CURSOR X,Y : PRINT SPACE$(79-X)
890 CODE=0 : RETURN

```

プログラム 20 は、画面に表われるメッセージのための処理である。エラー処理はプログラム 21 で行う。

(プログラム 21) エラー処理

```

10500 REM -----
10510 REM ----- エラー処理 -----
10520 REM -----
10530 PRINT CHR$(6) : IF (ERN=65)+(ERN=66)+(ERN=67) THEN 10580
10540 BON[0] 144,144,320,216
10550 CURSOR 20,10 : PRINT"Error Line=";ERL
10560 CURSOR 20,12 : PRINT"Error Code=";ERN
10570 END
10580 BON[2] 104,152,440,256
10590 CURSOR 20,10 : PRINT "Printer Error "
10600 CURSOR 24,12 : ON ERN-64 GOTO 10610,10620,10630
10610 XPRINT " Printer is not Ready" : GOTO 10640
10620 XPRINT " Trouble on Printer " : GOTO 10640
10630 XPRINT " No Paper on Printer " : GOTO 10640
10640 CURSOR 15,14 : XPRINT "エラーを処理し、[X] key をおして下さい。"
10650 GET X$ : IF X$="" THEN 10650
10660 IF ASC(X$)=13 THEN PRINT CHR$(6) : RESUME
10670 GOTO 10650

```

仕訳データの数字は、すべて文字型にして、合成して記憶させる。仕訳の入出力はプログラム 22 である。

(プログラム 22) データのフロッピーへの登録及び呼出

```

910 REM -----
920 REM          仕訳をフロッピーへ登録
930 REM -----
940 OPEN #1,SWKFL$
950 FOR I=1 TO N
960   INPUT #1(J*2-1),Z2$ : PRINT #1(J*2),Z1$
970   INPUT #1(J*2),Z1$ : PRINT #1(J*2),Z1$
980 NEXT I : CLOSE
990 OPEN #6,MNFL$ : PRINT #6(NKAMPKU+1),N,T,KU : CLOSE #6
1000 RETURN

1010 REM -----
1020 REM          仕訳をフロッピーから呼出
1030 REM -----
1040 IF N=0 THEN 1050
1050 OPEN #6,MNFL$
1060 FOR I=1 TO NKAMPKU : PRINT #6(I),0 : NEXT I : CLOSE #6 : RETURN
1070 OPEN #1,SWKFL$
1080 FOR I=1 TO N
1090   INPUT #1(J*2-1),Z2$ : INPUT #1(J*2),Z1$ : GOSUB 4640
1100   R(J)=SR:G(J)=SG:K(J)=SK:H(J)=SH:B$(J)=SB$
1110 NEXT I : CLOSE #1 : RETURN

4510 REM -----
4520 REM          仕訳データの合成 [R(J),G(J),K(J),H(J),B$(J)] → Z1$ & Z2$
4530 REM -----
4540 Z1$="":IF R(J)<10 THEN Z1$=" "
4550 Z1$=Z1$+STR$(R(J))
4560 IF G(J)<10 THEN Z1$=Z1$+"0"
4570 Z1$=Z1$+STR$(G(J))
4580 IF K(J)<10 THEN Z1$=Z1$+"0"
4590 Z1$=Z1$+STR$(K(J)) : HH$=STR$(H(J))
4600 SL=LEN(HH$) : IF SL<8 THEN Z1$=Z1$+STRING$( " ",8-SL)
4610 Z1$=Z1$+HH$
4620 Z2$=B$(J)
4630 RETURN
4640 REM -----
4650 REM          仕訳データの分解 , Z1$ & Z2$ to SR,SG,SK,SH,SB$
4660 REM -----
4670 SR=LEFT$(Z1$,2) : SR=VAL(SR$)
4680 SG=MID$(Z1$,3,2) : SG=VAL(SG$)
4690 SK=MID$(Z1$,5,2) : SK=VAL(SK$)
4700 SH=MID$(Z1$,7,8) : SH=VAL(SH$)
4710 SB$=Z2$ : RETURN

```

仕訳の転記はプログラム 23 で行う。

(プログラム 23) 仕訳の転記

```

6000 REM -----
6010 REM          仕 訳 デ ー タ 転 記
6020 REM -----
6030 OPEN #6,MNFL$
6040 INPUT #6(NKAMPKU+2),T:CLOSE #6: IF T=N THEN RETURN
6050 PRINT CHR$(6) : BOX[2] 104,48,352,176,F5
6060 CURSOR 17,6 : XPRINT"仕 訳 転 記 中"
6070 SYMBOL [6] 160,256,"しばらくお待ちください。",2,2
6080 OPEN #15,SWKFL$
6090 FOR J=T+1 TO N
6100 CURSOR 25,10 : PRINT USING "###";N-J
6110 INPUT #15(J*2-1),Z2$ : INPUT #15(J*2),Z1$ : GOSUB 4640
6120 FOR I=0 TO 1
6130   ON I+1 GOTO 6140,6150
6140   AK=SG : Z$="1" : MK=SK : GOTO 6160
6150   AK=SK : Z$="0" : MK=SG
6160 IF (AK=0)+(MK=0) THEN 6300
6170 L=LEN(STR$(SR)): IF L=2 THEN Z$=Z$+STR$(SR):GOTO 6190
6180 Z$=Z$+" "+STR$(SR)
6190 L=LEN(STR$(J)) : IF L=4 THEN Z$=Z$+STR$(J) : GOTO 6210

```

```

6200 Z$=Z$+STRING$( "0",4-L)+STR$(J)
6210 L=LEN(STR$(AK)) : IF L=2 THEN Z$=Z$+STR$(AK) : GOTO 6230
6220 Z$=Z$+"0"+STR$(AK)
6230 L=LEN(STR$(SH)) : IF L=8 THEN Z$=Z$+STR$(SH) : GOTO 6250
6240 Z$=Z$+STRING$( " ",8-L)+STR$(SH)
6250 C$=STR$(MK) : IF MK<10 THEN C$="0"+C$
6260 MCFL$="B:M"+C$+"-"+Y9$+MT$ : XOPEN #3,MCFL$
6270 KK=DN(MK)+1 : PRINT #3(KK*2-1),SB$ : PRINT #3(KK*2),Z$ : CLOSE #3
6280 DN(MK)=DN(MK)+1
6290 NEXT I
6300 NEXT J
6310 XOPEN #6,MNFL$:FOR G=1 TO NKAMOKU:PRINT #6(G),DN(G):NEXT G
6320 PRINT #6(NKAMOKU+2),N
6330 CLOSE #6:CLOSE #15
6340 T=N : PRINT CHR$(6): RETURN

```

プログラム24では、データ文に漢字コードが並んでいる。画面及びプリンタ用の漢字コードを、読み込むためのサブルーチンがある。

(プログラム24) データ文

```

8460 REM -----
8470 REM                      仕訳伝票用ライン (CRT)
8480 REM -----
8490 LINE[6]328,8,639,8:LINE[6] 0,40,583,40:LINE[6] 0,72,639,72
8500 LINE[6] 0,120,639,120:LINE[6] 0,168,639,168:LINE[6] 0,216,639,216
8510 LINE[6] 0,264,639,264:LINE[6] 0,312,639,312:LINE[0] 0,40,0,312
8520 LINE[6] 167,40,167,312:LINE[6] 327,8,327,312:LINE[6] 423,8,423,312
8530 REM LINE[6] 583,8,583,312:LINE[0] 639,8,639,312
8540 LINE[6] 583,8,583,72 : RETURN
8550 REM ----- 仕訳伝票用文字コード (CRT) -----
8560 DATA 11,1,6,$3B45,$4C75,$4541,$493C,$467E,$4E4F
8570 DATA 43,1,4,$4541,$493C,$467C,$4955
8580 DATA 54,1,9,$3E3C,$4F42,$2121,$472F,$2121,$376E,$2121,$2121,$467C
8590 DATA 74,1,2,$4541,$493C
8600 DATA 74,3,2,$234E,$234F
8610 DATA 3,3,7,$3C5A,$2121,$4A7D,$2121,$324A,$2121,$4C5C
8620 DATA 23,3,7,$425F,$2121,$4A7D,$2121,$324A,$2121,$4C5C
8630 DATA 43,3,4,$3662,$2121,$2121,$335B
8640 DATA 58,3,5,$4526,$2121,$2121,$2121,$4D57
8650 DATA 10,21,14,$447B,$4035,$242C,$2422,$246A,$245E,$2439,$242B,$2129
8660 DATA $214A,$2359,$213F,$234E,$214B
8670 DATA 40,22,7,$447B,$4035,$2121,$234E,$236F,$2125,$2129
8680 REM -----
8690 REM                      漢字コード入力 (CRT)
8700 REM -----
8710 FOR LL=1 TO JMAX
8720 READ X,Y,NW
8730 CURSOR X,Y
8740 FOR IL=1 TO NW : READ X
8750 XPRINT KCHR$(X);: NEXT IL
8760 NEXT LL
8770 RETURN

9000 REM -----
9010 REM                      仕訳更新漢字コード (CRT)
9020 REM -----
9030 DATA 30,1,7,$2121,$3B45,$4C75,$4541,$493C,$467E,$4E4F
9040 DATA 24,5,6,$4649,$245F,$397E,$245F,$376F,$3F74
9050 DATA 40,5,4,$3967,$3757,$376F,$3F74

10110 REM -----
10120 REM                      プ リ ン タ ー 漢 字 コ ー ド
10130 REM -----
10140 REM ----- 仕訳帳 -----
10150 DATA 30,14,$217A,$2121,$2121,$3B45,$4C75,$4541,$493C,$256A,$2539
10160 DATA $2548,$2121,$2121,$217A,$2121
10170 DATA 0,4,$4541,$493C,$467C,$4955
10180 DATA 3,4,$3B45,$4C75,$234E,$234F
10190 DATA 2,8,$3C5A,$2121,$4A7D,$2121,$324A,$2121,$4C5C,$2121
10200 DATA 8,8,$425F,$2121,$4A7D,$2121,$324A,$2121,$4C5C,$2121

```

```

10210 DATA 8,5,$3662,$2121,$2121,$2121,$335B
10220 DATA 6,6,$4526,$2121,$2121,$2121,$2121,$4D57
10230 DATA 20,12,$213D,$213D,$213D,$2121,$4541,$493C,$3757,$2121,$213D,$213D,$2121
10240 DATA 20,12,$213D,$213D,$213D,$2121,$416D,$3967,$3757,$2121,$213D,$213D,$2121
10250 REM ----- 元 帳 -----
10260 DATA 6,10,$217A,$2121,$416D,$342A,$446A,$3835,$4422,$2121,$217A,$2121
10270 DATA 0,4,$4541,$493C,$467C,$4955
10280 DATA 5,4,$3B45,$4C75,$234E,$234F
10290 DATA 4,7,$324A,$2121,$2121,$4C5C,$2121,$2121,$4C3E
10300 DATA 8,7,$3C5A,$2121,$4A7D,$2121,$3662,$2121,$335B
10310 DATA 5,7,$425F,$2121,$4A7D,$2121,$3662,$2121,$335B
10320 DATA 4,8,$2121,$3B44,$2121,$2121,$2121,$2121,$3962,$2121
10330 DATA 4,9,$2121,$4526,$2121,$2121,$2121,$2121,$2121,$4D57,$2121
10340 REM ----- 試 算 表 -----
10350 DATA 30,12,$217A,$2121,$3967,$3757,$3B44,$3962,$3B6E,$3B3B,$493D,$2121,$217A,$2121
10360 DATA 0,30,$2163,$213D,$213D,$213D,$213D,$213D,$213D,$213D,$213D,$213D
10370 DATA $213D,$213D,$213D,$2121,$3C5A,$4A7D,$3662,$335B,$2121,$213D
10380 DATA $213D,$213D,$213D,$213D,$213D,$213D,$213D,$213D,$213D,$2164
10390 DATA 13,30,$2163,$213D,$213D,$213D,$213D,$213D,$213D,$213D,$213D,$213D,$213D,$213D,$213D
10400 DATA $213D,$213D,$213D,$2121,$425F,$4A7D,$3662,$335B,$2121,$213D
10410 DATA $213D,$213D,$213D,$213D,$213D,$213D,$213D,$213D,$213D,$2164
10420 DATA 2,7,$214A,$3B44,$2121,$2121,$3962,$214B,$2121
10430 DATA 4,10,$214A,$4576,$2121,$2121,$376E,$2121,$2121,$3757,$214B,$2121
10440 DATA 0,9,$214A,$413D,$2121,$2121,$376E,$2121,$2121,$3B44,$214B
10450 DATA 0,10,$215A,$324A,$2121,$2121,$4C5C,$2121,$2121,$4C3E,$215B,$2121
10460 DATA 0,10,$214A,$413D,$2121,$2121,$376E,$2121,$2121,$3B44,$214B,$2121
10470 DATA 0,9,$214A,$4576,$2121,$2121,$376E,$2121,$2121,$3757,$214B
10480 DATA 4,6,$214A,$3B44,$2121,$2121,$3962,$214B
10490 DATA 2,10,$213D,$213D,$213D,$2121,$3967,$3757,$2121,$213D,$213D,$213D

```

```

10680 REM -----
10690 REM 漢字コード入力 (プリンター)
10700 REM -----
10710 READ SP,NIJ
10720 XPRINT#P SPACE$(SP);
10730 FOR LL=1 TO NIJ : READ X
10740 XPRINT#P KCHR$(X);: NEXT LL
10750 RETURN

```

(プログラム 25) 残高のバック・アップ及び年度末処理等

```

11510 REM -----
11520 REM 今月末残高のバック・アップ
11530 REM -----
11540 PRINT CHR$(6) : BOX [2] 8,40,296,144,F6
11550 CURSOR 5,4:XPRINT[5]" 今月末残高をバック・アップ "
11560 CURSOR 10,6:XPRINT[5]" 昭和"+KY$+"年"+KO$+"月 "
11570 CURSOR 10,10:XPRINT[7]"バック・アップ用のフロッピーを";
11580 XPRINT[5]"ドライブB";:XPRINT[7]"へ挿入してください。"
11590 CURSOR 10,12 : XPRINT "今月末残高をバック・アップします。"
11600 CURSOR 10,12 : XPRINT "それから, [B] キー を押して下さい。"
11610 CURSOR 30,16 :XPRINT[2] "中止する時は [X] key を押してください。"
11620 GET X$: IF X$="" THEN 11620
11630 IF X$="B" THEN GOTO 11660
11640 IF ASC(X$)=13 THEN RETURN
11650 MUSIC"--CO" : GOTO 11620
11660 XOPEN #1,JZENFL$:FOR G=1 TO NKAMOKU :INPUT #1(G),UN(G) : NEXT G :CLOSE #1
11670 BZENFL$="B:ZEN="+NY$+NM$+" . BRD"
11680 XOPEN #2,BZENFL$
11690 FOR G=1 TO NKAMOKU :PRINT #2(G),UN(G) : NEXT G :CLOSE #2
11700 FOR I=10 TO 16 STEP 2:CURSOR 0,I :PRINT SPACE$(79):NEXT I:CURSOR 10,10
11710 CURSOR 10,10:XPRINT[5] "前の元帳フロッピーを";
11720 XPRINT "ドライブB";:XPRINT[5] "へ戻して"
11730 CURSOR 15,12:XPRINT[5]" [B] キー を押してください。"
11740 GET X$: IF X$="" THEN 11740
11750 IF X$="B" THEN GOTO 11770
11760 MUSIC "--CO" : GOTO 11740
11770 RETURN
11780 REM -----
11790 REM 年 度 末 処 理
11800 REM -----
11810 PRINT CHR$(6) : BOX [6] 8,40,296,144,F2
11820 CURSOR 5,4:XPRINT[7]" 年 度 末 処 理 "
11830 CURSOR 10,6:XPRINT[7]" 昭和"+KY$+"年"+KO$+"月 "
11840 CURSOR 10,10:XPRINT "今年度残高を年度末処理をして繰越します。"
11850 CURSOR 10,14 : XPRINT " [B] キー を押して下さい。"
11860 CURSOR 30,16 :XPRINT[2] "中止する時は [X] key を押してください。"

```

```

11870 GET X$: IF X$="" THEN 11870
11880 IF X$="B" THEN GOTO 11910
11890 IF ASC(X$)=13 THEN RETURN
11900 MUSIC"--CO" : GOTO 11870
11910 GOSUB 12480: UN(M0)=UN(M0)+UN(JK)+JR : UN(JK)=0
11920 FOR G=SIK+FUK+1 TO NKAMOKU : UN(G)=0 : NEXT G
11930 CURSOR 10,12:XPRINT "来年度用の仕訳フロッピーを";
11940 XPRINT[6]"ドライブB":XPRINT[7]"へ挿入してください。"
11950 CURSOR 10,14 : XPRINT "それから, [B] キー を押して下さい。"
11960 CURSOR 30,16 :XPRINT[2] "中止する時は [X] key を押してください。"
11970 GET X$ : IF X$="" THEN 11970
11980 IF X$="B" THEN GOTO 12010
11990 IF ASC(X$)=13 THEN RETURN
12000 MUSIC"--CO" : GOTO 11970
12010 A$="B"+RIGHT$(JZENFL$,13) : XOPEN #1,A$
12020 FOR G=1 TO NKAMOKU : PRINT #1(G),UN(G) : NEXT G : CLOSE #1
12030 PRINT CHR$(6) : CURSOR 10,10 : XPRINT[5] "今月用の元帳フロッピーを";
12040 XPRINT "ドライブB":XPRINT[5]"へ戻して"
12050 CURSOR 15,12:XPRINT[5]"[B] キー を押してください。"
12060 GET X$ : IF X$="" THEN 12060
12070 IF X$="B" THEN RETURN
12080 MUSIC "--CO" : GOTO 12060
12090 REM -----
12100 REM 残高次月繰越
12110 REM -----
12120 G1=1 : G2=NKAMOKU : XOPEN #1,ZENFL$
12130 FOR G=1 TO NKAMOKU : INPUT #1(G),U(G) : NEXT G : CLOSE #1
12140 XOPEN #2,MNFL$ : INPUT #2(NKAMOKU+1),N,T,KU
12150 FOR G=1 TO NKAMOKU:INPUT #2(G),DN(G):NEXT G:CLOSE #2
12160 IF T<>N THEN GOSUB 6000: REM ----- 仕訳データ転記 -----
12170 IF KU=0 THEN 12190
12180 XOPEN #1,JZENFL$:FOR G=1 TO NKAMOKU:INPUT #1(G),UN(G):NEXT G:CLOSE #1:RETURN
12190 PRINT CHR$(6):BOX[2] 104,48,432,176,F5:CURSOR 17,6:XPRINT " 残高次月繰越 "
12200 CURSOR 30,8:XPRINT[6] " 昭和"+KY$+"年"+KO$+"月 "
12210 IF T>0 THEN 12240
12220 XOPEN #1,JZENFL$:FOR G=1 TO NKAMOKU:PRINT #1(G),U(G):UN(G)=U(G):NEXT
12230 CLOSE #1 : RETURN
12240 FOR G=G1 TO G2
12250 IF A$(G)="--" THEN 12430
12260 ZAN=U(G):S1=0:S2=0
12270 IF DN(G)<=0 THEN 12420
12280 G$=STR$(G):IF G<10 THEN G$="0"+G$
12290 MCFL$="B:M"+G$+"-"+Y9$+MT$ : XOPEN #1,MCFL$
12300 FOR J=1 TO DN(G) : INPUT #1(2*J),X$
12310 RL$=LEFT$(X$,1):H$=MID$(X$,10,8)
12320 ON VAL(RL$)+1 GOTO 12330,12370
12330 S1=S1+VAL(H$)
12340 IF CODE(G)=1 THEN 12360
12350 ZAN=ZAN+VAL(H$) : GOTO 12410
12360 ZAN=ZAN-VAL(H$) : GOTO 12410
12370 S2=S2+VAL(H$)
12380 IF CODE(G)=1 THEN 12400
12390 ZAN=ZAN-VAL(H$) : GOTO 12410
12400 ZAN=ZAN+VAL(H$) : GOTO 12410
12410 NEXT J : CLOSE #1
12420 UN(G)=ZAN
12430 NEXT G
12440 XOPEN #1,JZENFL$
12450 FOR G=1 TO NKAMOKU : PRINT #1(G),UN(G) : NEXT G : CLOSE #1
12460 KU=1:XOPEN #1,MNFL$:PRINT #1(NKAMOKU+3),KU:CLOSE #1
12470 RETURN
12480 REM -----
12490 REM 純利益の計算
12500 REM -----
12510 GOSUB 6000: GOSUB 12090
12520 XOPEN #1,JZENFL$ : FOR G=1 TO NKAMOKU:INPUT #1(G),UN(G):NEXT G:CLOSE #1
12530 PRINT CHR$(6) : BOX[2] 104,48,432,176,F5
12540 CURSOR 17,6 : PRINT " 純利益計算中 "
12550 CURSOR 30,8:XPRINT[6] " 昭和"+KY$+"年"+KO$+"月 "
12560 GS=1 : GF=SIK+1 : K1=SIK : K2=SIK+FUK
12570 IF (A$(GS)="--")+(GF#K1) THEN 12600
12580 IF (A$(GS)="--")+(GF#K1) THEN GS=GS+1 : GOTO 12570
12590 R=0:S1=S1+UN(GS)
12600 IF (A$(GF)="--")+(GF#K2) THEN 12630
12610 IF (A$(GF)="--")+(GF#K2) THEN GF=GF+1 : GOTO 12600
12620 R2=R2+UN(GF)
12630 IF (GF#K1)+(GF#K2) THEN 12670
12640 IF GS#K1 THEN GS=GS+1
12650 IF GF#K2 THEN GF=GF+1
12660 R=R1 : GOTO 12570
12670 R2=R1-S2:RETURN

```

プログラム 25 は、図-6 の繰越金処理メニューのためのプログラムである。

メイン・メニューにある勘定科目コード表と摘要コード表の印刷はプログラム 26 で行なう。

(プログラム 26) 勘定科目コード表及び摘要コード表の印刷

```

12680 REM -----
12690 REM                  勘定科目コード表の印刷
12700 REM -----
12710 PRINT CHR$(6):XPRINT[6] TAB(20);"◆ 勘定科目コード表 ◆"
12720 CURSOR 5,5:XPRINT[2] "[X] キーを押すと印刷を始めます。"
12730 GET A$:IF A$="" THEN 12730
12740 IF ASC(A$)=13 ELSE MUSIC "-CD" : GOTO 12730
12750 XPRINT/P TAB(10);"◆ 勘定科目コード表 ◆":PRINT/P
12760 X$=STRING$("-",20) : FOR G=1 TO NKAMOKU : IF A$(G)="-" THEN 12830
12770 IF G=1 THEN XPRINT/P "資産勘定 [0] ";X$:GOTO 12810
12780 IF G=21 THEN XPRINT/P "負債勘定 [1] ";X$:GOTO 12810
12790 IF G=31 THEN XPRINT/P "費用勘定 [0] ";X$:GOTO 12810
12800 IF G=61 THEN XPRINT/P "利益勘定 [1] ";X$:GOTO 12810
12810 XPRINT/P " ";
12820 XPRINT/P A$(G);" (";RIGHT$( "0"+STR$(G),2);")"
12830 NEXT G
12840 GOTO 320
12850 REM -----
12860 REM                  摘要コード表の印刷
12870 REM -----
12880 PRINT CHR$(6):XPRINT[6] TAB(20);"---- 摘要コード表印刷 ----"
12890 CURSOR 5,5:XPRINT "[X] キーを押すと印刷を始めます。"
12900 GET A$:IF A$="" THEN 12900
12910 IF ASC(A$)=13 ELSE MUSIC "-CD" : GOTO 12900
12920 XPRINT/P TAB(20);"---- 摘要コード表 ----":PRINT/P
12930 FOR G=1 TO NKAMOKU : NH=0
12940 NH=0 : FOR H=1 TO 20 : IF TEKIOU$(G,H)="" THEN 12970
12950 NH=NH+1 : C1$=RIGHT$( "0"+STR$(G),2) : C2$=RIGHT$( "0"+STR$(H),2)
12960 XPRINT/P C1$;C2$;" ";TEKIOU$(G,H) : NEXT H
12970 IF NH=0 THEN 13010ELSE PRINT/P : MUSIC "+CORD+CORD+CD"
12980 CURSOR 5,5:XPRINT "[X] キーを押すと続けて印刷します。"
12990 GET A$:IF A$="" THEN 12990
13000 IF ASC(A$)<>13 THEN MUSIC "-CD" : GOTO 12990
13010 CURSOR 0,5:PRINT SPACE$(79) : NEXT G : GOTO 320
13020 IF ASC(X$)=13 THEN PRINT CHR$(6) : GOTO 684

```

9. おわりに

このプログラムの特長は、摘要の入力が、コード入力、通常入力の2通りにより漢字入力できることと思われる。但し、この2通りの入力方法を同時に使う時は、まずコード入力をして、その後で通常入力をする。その逆も出来るように改善したいと思うが、その際、パソコンからのメッセージ (Y/N等) が増えない様にする事が、伝票入力にとって適切である。又、コード入力を複数同時に使えるようにもしたい。

さらに、勘定科目、登録摘要の作成とコード番号の決定をプログラムの中に入れるべきかと思う。

ここでのプログラムの勘定科目は69科目 (255科目まで増設できる),

1 ヶ月の最大伝票数 255 件, 摘要は漢字なら 15 文字まで入力できる。英数カナモードでも入力可能であり, 両者の混合も可。

1 ヶ月平均 80 件の伝票を昨年 1 年間このプログラムで処理した。フロッピーの記憶容量が 320 KB / 基と少ないが, 1 年分の仕訳が 1 枚のフロッピーに入った。元帳は 4 ヶ月 / 枚, 1 年で 3 枚のフロッピーを必要とした。ファイルの使い方を考えなおすことにより, フロッピーの必要枚数を減らすことが可能だろう。

今後, このプログラムを教育用に活用するために, マルチ・スクリーン の概念を使って, 勘定科目コード番号表及び摘要コード番号表をいつでも, 瞬時に画面に出せるように改善したい。

(プログラムのコピーには応じますので, 中京大学教養部センターまで御申出下さい。)

参 考 文 献

1. MZ—5500 Owner's Manual
2. MZ—5500 CP/M Manual
3. MZ—5500 BASIC Language Manual
4. MZ—5500 漢字 CP/M Manual
5. MZ—5500 BASIC Language Manual (2 Z—016)
6. TOP 財務会計マニュアル, PC—9800 シリーズ・PC—100 シリーズ,
オービックビジネスコンサルタント
7. 塚本昌代, 『実例パソコン財務会計—NEC PC—9801, 8801—』, パワー社 (1983)
8. 大櫛克之, 「MZ—2000 小規模企業用経理プログラム」, 『ザ・ベーシック』 (1983.12), 65—72
9. シナプス 1, 「青申会計処理ヘルパー」, 『マイコン』 (1984.12), 334—344
10. シナプス 1, 「青申会計処理ヘルパー」, 『マイコン』 (1985.1), 365—376
11. 日比野省三, 「私立大学情報処理センターの現状と将来動向」, 『中京大学・教養論叢』, 第 2 号 (1984), 217—256